無産階級戦闘雑誌

進め

暴壓の嵐を蹴って
メーデーを武装せよ

第七巻 ◆ 五月 ◆ 第五號

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

進め

本號一瞥

總罷業をもつて戰鬪的メーデーを守れ……………………卷頭言
メーデーを鬪爭せよ、歴史的任務逐行の日だ…………佐藤謹郎
メーデーの思ひ出…（政研の旗の本ども）下村靜夫
農民に土地と自由を與へよ……………………………………
▲征旗をかざしてメーデーに參加せよ………………伊倉繁郎
■メーデー歌…………………………………………………………
愛國無產黨の出現と勞農派の孤立……………………………下村靜夫
…▲清黨運動の功罪……………………………………………………
常に一歩も踏み出し得ない左翼………………………………吉田源藏
…日和見主義者はかく戰ふ…………………………………………
故山本宣治氏鬪爭記錄の一頁…………………………………………
▲資本家地主政府の警察行政に關する質問……山本宣治
沒落過程にある蔣介石……………………………………………島津光雄
勞働移動のシーズンに跳梁する惡人夫屋の魔手を
警戒せよ………………………………………………………………加藤利藏
全國勞農青年同盟東京府支部鬪爭方針書草案（資料）
朝鮮社會運動小史（二）…（資料）…………………………呉成龍
■ 進め社たより　進め戰鬪歌 ■
移　住　民…（創作）………………………………………………金光旭
社會主義運動思出話（其十）…（特別讀物）…………………………
……………………………………………………………………………岡野辰之介

メーデー歌

◇

×

明け万國の勞働者
とゞろきわたるメーデーの
示威者に起る足どりと
未來を告ぐるときの聲

×

汝の部署を放棄せよ
汝の價値に目醒むべし
全一日の休業は
社會の緊張を誇つものぞ

×

ながき搾取に悩みたる
無產の民よ蹶起せよ
今や二十四時間の
階級戰は來りたり

×

起て勞働者ふるひ立て
奪ひさられし生產を
正義の手もて取り返せ
彼等の力何者ぞ

×

我等の歩武の先頭に
かゝげられたる×旗を
守れメーデー勞働者
守れメーデー勞働者

◇

一

櫻は散りて貴人等の
榮華の夢の醒めし時
青葉の風の送り來し
プロレタリアの紀念祭

二

人類文化の柱なる
この双腕をさしのべて
天下に示せ我々の
意氣と希望と友愛を

三

殘虐無道の資本主義
屠る使命はわれにあり
友よ今日の日諸共に
强く戰はん自由戰

四

あゝ今日の日は萬國の
同志の意氣は天を衝き
敵の牙城に迫るらん
健かなれよ同志等よ

五

あゝメーデーは何の日ぞ
世界の敵の恐るゝ日
世界の味方の祝する日
正義の×旗翻く日

◇

一

貪慾飽くなき資本家の
魔の手は長く勞働の
精華を奪ひむさぼりて
根幹固き資本主義

二

天地も許さぬ殘虐に
虐げられし勞働者
血潮は流れて河となり
恨みは深し幾世紀

三

起て勞働者奮ひ起て
資本の牙陷れ
わが手に己が生產を
奪還すべき時は今

四

起て勞働者奮ひ起て
永きこの世の不合理を
一擧に屠り打ち立てよ
勞働自治の新社會

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

萬國の無産者團結せよ

第七年 ◆ 戰鬪 ◆ 進め ◆ 雜誌 ◆ 第五號

總罷業をもつて戰鬪的メーデーを守れ

メーデーとは何の日ぞ。

勞働者農民の極度の窮乏化の上にからうじて其の巨體を支へつゝある資本家地主の政府、迫り來る世界帝國主義戰爭の準備と、階級鬪爭の激化に對する彈壓に××を逞うする帝國主義的國家××に反抗して、一切の資本家地主の××の打倒、勞働者農民の××をつくれのスローガンの下に、勞働者はハンマーを、機械の運轉を止め、農民は×を腰にぶち込んで、一大示威運動を敢行する日である。産業合理化による大量馘首、立入禁止による土地の強奪、治安維持法による前衞の××等々に對して、××化せんとして常に官憲の××と××××によつてじうりんされつゝある戰鬪的勞働者農民が、わづかなる合法性の間隙を利用して一せいに街頭に溢れ出づる日である。しかし乍ら、われわれが毎年のメーデーにおいて經驗するものは何であるか、未前において行はれる戰鬪的分子の檢束拘留、階級的スローガンの撤去等をもつて、官憲と改良主義首領の野合は公然と行はれ、メーデーは勞働者のお祭り日たとの唾棄すべき裏切的言辭が交されつゝある事である。

諸君、メーデーはお祭であらうか。無産階級解放の陣頭に立つて勇敢に戰つた同志が、治安維持法の鐵鎖につながれ暗き牢獄に呻吟するの時、われらの山宣が白色テラの兇刃に斃るゝの時た。お祭とは何の言葉た。これこそ最惡の裏切であり、政府の彈壓に呼應し、拍手してゐると同じ事ではないか、われらの前衞の××を意識的に又無意識的に拍手する社會民主主義者との徹底的抗爭こそ、彈壓の嵐を蹴り進む第十回メーデーに課せられたる階級的使命である。帝國主義日本のブルヂヨアジーに對する××的デモストレシヨンが既に約束されたメーデーであるならば、議會主義と合法主義の幻影に醉ひしれゐる左右兩翼のいづれを問はず、社會民主主義はまさしく最前面の敵ではないか。彼等は血にちみれたるメーデーの××的歷史を忘却しようとしてゐるのた。そして、牢獄と死をもつて鬪門とする無産階級解放への荊逆の道に孤疑逡巡してゐるのではないか。搾取なき勞働者農民の新社會は、死を恐れざる鬪爭を通じてのみ到來するのである。

いざ、全土の戰鬪的勞働者農民諸君、

日本におけるメーデーの歷史は淺い。しかしながら。資本家地主の政府の飽くなき攻勢は、諸君等をして固き握手を交さしめ、萬國の勞働者團結せよの合言葉は、今や帝國主義戰爭反對、勞農ロシヤを守れ、×××××を×れの大衆的行動に、經濟的デモストレシヨンは政治的デモにまで轉化した。

諸君、五月一日は斷然總罷業た。

農民に土地と自由を與へよ。

七時間勞働制の實施、同一勞働に同一賃銀を與へよ

言論、出版、集會、結社の自由を與へよ。

勞働者農民の××をつくれ、

萬國の勞働者農民××團結萬歲

第十回戰鬪的メーデー萬歲

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

メーデーを闘争せよ 歴史的任務遂行の日だ

佐藤護郎

僕が一番最初メーデーに參加したのは大正十年である何んでも第二回かのメーデーだつたと思ふ。その頃僕は若いアナキストとして感激に燃えさかつてゐた頃だつたので何かデッカイことをしてみたくてたまらなかつた。僕の參加した團體は機械技工組合といふ、當時に於ては左翼として一般にみとめられた組合で、現に三一五事件で收監中の×浦×一君等もゐた。集合地は芝浦の河岸で潮風が赤や黑の××旗を煽つて實に壯觀であつた。僕は機械技工組合の外に、無産民社といふ思想團體に入つてゐたので、隨つて無産民社のいろ／＼な計劃にも參加した。メーデーの二三日前から發行禁止になつたビラをふところに入れて銀座や、小川町あたりのショウウインドのガラスにピッタリ糊をつけて張つて歩いた。人にみつからずにビラが張られたあとの氣持といつたら、たとへ樣のない程よいものである。それから、僕等は小さい赤い旗や黑い旗を澤山こしらへてそれをメーデーの行列中に撒こうといふことにした。そして、それを風呂敷に包んで會場の中へ持ち込むのが僕の役目であつた。橋の袂には警視廳の御歴々が顏を揃へて、一々人物調やら、身體檢査やらをしてゐたが、どうしたものか僕の赤い小旗の風呂敷包みだけはパスした。

一時近くになつて、愈々行列といふことになつた。當時はまだ今程當局のやり方がうまくなかつたが、やつはり五十人ばかりの中へ警官の一隊をさし込んで、途中から引つこ抜きをやつたりした。僕はどうも初めてのことではあり、赤小旗の包みが氣になつて早くなんとか片づけたいと思つてゐる内に行列は濱松町邊へさしかゝつたイキナリ風呂敷をひろげて中の赤旗を一人一人にくばつた。何でも二百本近くの旗が二三十本もくばつたかと思ふ内に、うしろの方から大きな腕が延びて僕の菜つ葉服の襟を掴つた。そしてズル／＼と行列外に引出されると腰やぐらといふ柔道の一手で、もろくも衣公のために投やられた。その恰好つたらなつてゐない。そして愛宕署へ連れられた。何んだか心細い樣な氣もしたが、愛宕署へ行つてみると、先客がゐるわ／＼約三十人位、留置場へ入れずにみな外に立つて、そして大聲で愉快そうな話しを交はしてゐる。そうなると僕は急にうれしくなつて來て、誰とでも盛んに話し出した。この時まで留置場といふところは特に恐ろしいところだといふ考へであつたが來てみると、何でもないところだと初めてわかつた。僕はその晩とめられて翌日罰金をとられて午後一時頃釋放された。──今思ふと、この一番最初のメーデーほどなつかしく愉快なメーデーは曾てない。

今年は年號も變つて昭和四年、それから九年目のメーデーを迎へる事になつた。隨つて、メーデーに對する勞働大衆の自覺は年と共に増大して、今では二萬三萬といふ勞働者の大行列が市中をうねり出す樣になつた。それと共に、政府のメーデーに對する態度は益々はげしく益々巧妙になつて來た。あたかもメーデーをして勞働者を取締る官憲の偉力を示威する日の如き觀が、なきにしもあらずである。そしてまた、この傾向に同和してすべて事なかれ主義で行列を進はせやうとするのが、勞働貴族の一派である。往時、メーデーは官公とは必ず組打ちするものであるとして、武裝して出かけたものだが、今ではメーデーに參加するために、新しい洋服を新調するといふ有樣である。この傾向は勞働貴族共のデマゴーグと、またそれに瞞せられた勞働大衆のメーデーに對する認識の誤反からである。隨つて勞働大衆は工場内の鬪爭を街頭へ移す。といふメーデーの根本義を忘れて、メーデーは鬪爭の息抜きた、位にしか考へてゐない。

メーデーは、日常工場或は職場内に於て行れてゐる鬪爭を街頭へ移す唯一の鬪爭日である。隨つてこの鬪爭は大行列の上の運動に終つてはならない。日常の不平不滿を少しもあますことなく曝け出して、これを要求すべきである。我々が八時間制を要求するならば、あらゆる資本家に向つて、この日實施を要求し、また資本家政府に向つて、態度を明かにして要求すべきである。我々のこの要求は毫も合法性を云々する必要はない。どんな方法でもない、要求するものを獲得しさえすればそれでよいこの日、もしこの行動に反對する者あらば、それは無産階級の裏切り者である。

從來、メーデーは無産階級の示威をなす日、偉力を試みる日とされてゐたが、今日、資本主義の沒落時代、反動時代に於てはメーデーは彼等の意識的反動に對する意識的鬪爭の日に轉化されなければならぬ、そして彼等の支配に向つて反抗し、突貫しなければならぬ。そしてこそ初めてメーデーを意義あらしむることが出來得るのである。

僕達が、第何回かのメーデーに、神田昌平橋の上で警官隊、即ち警視や新選組の一隊と衝突し、我等の旗幟の

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

剰ひ合ひが極まつた時、我等はあくまでも盟旗を守つて奮闘し、遂に切れ切れになつた旗を完全に守り得て、なほ検束されんとした同志を奪ひ返し凱歌をあげて、勝利を祝福したことがある。當時、この行動は無意識な感激と、同志愛に満ちた氣持からなされて彼等の一隊を打のめしたのであるが、今は、こうした行動は、もつと意識的に計劃的になされなければならぬ時代に入つてゐる。餓えたる無産階級の甦生のため、反動的壓迫に反抗する手段として行はれなければならぬ。この明確なる意識をもつてメーデーを闘争するこそ、メーデーをして無産階級の歴史的任務を遂行せしめ得る日となす事が出來得るのである。

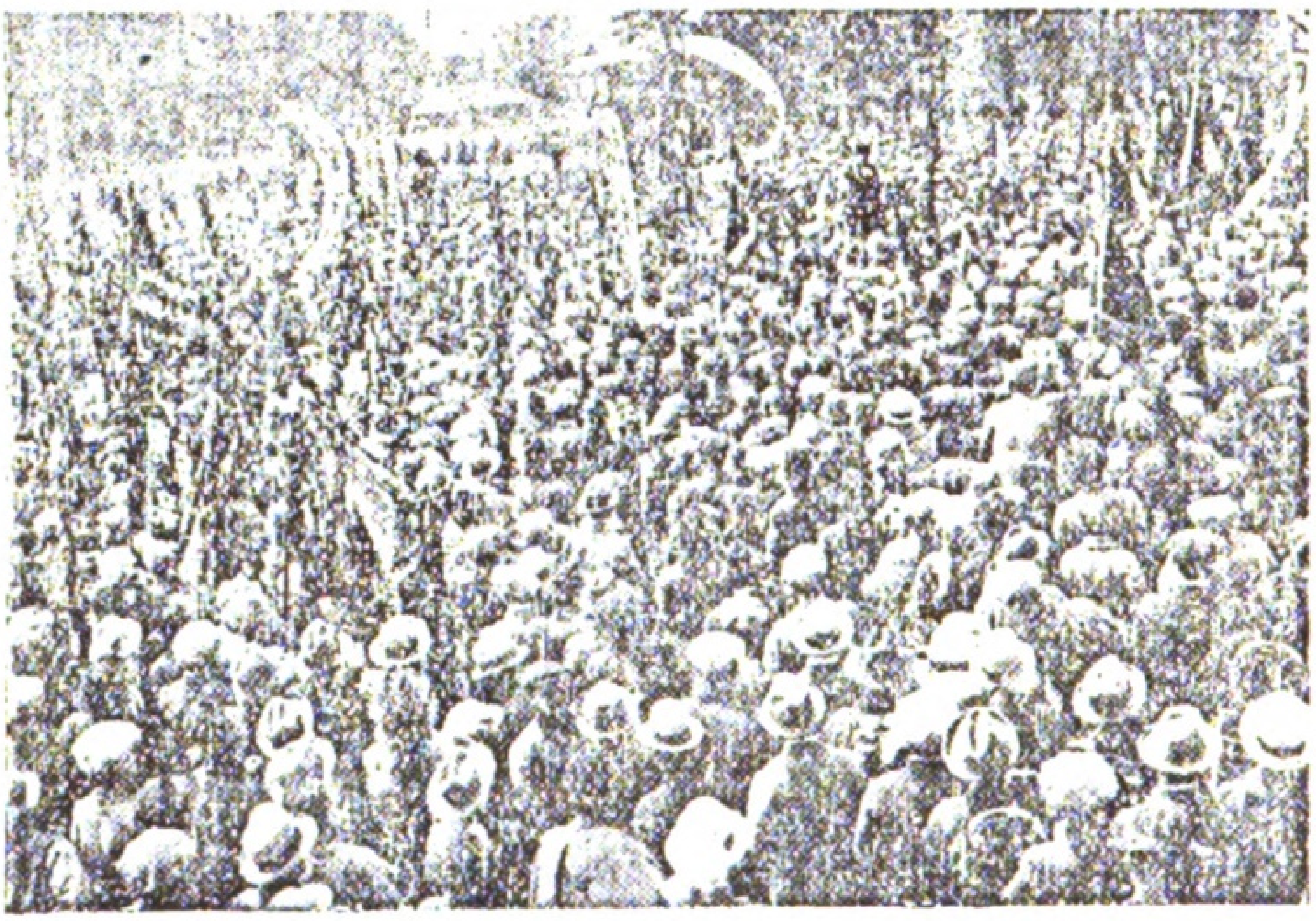
我々無産階級がメーデーを眞に意義ある日となすことは、メーデーをして歴史的任務遂行の日となすことである。

メーデーの思ひ出
——政研の旗の事ども——

下村静夫

大正十五年私は二十才の時、初めてメーデーに参加した。参加したといふより、關係したと云ふ方がよいかも知れない。しかし、メーデーの發起者の一人たつたから可笑しい。メーデーと云つても、示威運動をやつた譯ではない。メーデーを紀念するビラを撒くといふにとゞまつてゐたのである。

政治研究所が青年の心をそゝつてゐた頃の事である。島根縣松江市で、市の隅つこにあつた稲田理三郎君の家で、メーデーの一週間程前に寄り集まつてビラを撒く事を決議した。その頃の松江市には何等の勞働組合もなく政治研究會に少數の意識分子が立てこもつてゐたに過ぎぬ。元來、松江市は近代的工業の無いところで、勞働組合は今でも出來てゐない様に思ふ。又その頃、松江市の附近に農民組合があるにはあつたが、今の様に戰闘的な全國農民組合支部ではなく、極めてあいまいな協調組合の様な獨立組合で、隣縣の日本農民組合鳥取縣支部とはまるつきり違つてゐた。この農民組合——島根小作聯合會はメーデーといふ様なものは問題にしてゐなかつた。知らなかつたといふ方が適當であるかも知れない。



たから、政研の方では「なんたあんな奴が」といふ風に輕蔑してゐたし、農民組合の方では「××主義を奉ずるグループ」として恐ろしいものたと組合員の近寄る事を極度に警戒してゐた。そんな具合で、農民組合とは縁が切れてゐたから、示威運動のやれる譯がない。

扨て、愈々五月一日の朝、テクテク歩いて松江へ出掛けた。私の家は三里も離れた山の中であつたから。八時頃、驛の前を通ると大變なんだ。停車場から長い長い女工の列が進んでくる。手に手に旗をもつて。それを町の人が黒山の様に見てゐる。

大變な元氣たなと思ひ乍ら、稲田君の家へ行つた。稲田君を初め二三人がゴロゴロしてゐるので、どうしたのたと聞くと、ビラは昨日撒いたのたと云ふ。今日町へ撒くと検束するとの話だ。おまけに、スパイの奴が張番をしてゐる。松江から四五里離れた今市といふ所の製絲工場の女工が松江へ花見にくるからビラを撒くなとの事たそうた。私は今しがた見て來た行列がそれたなと思つた。全くたよりないメーデーであつた。

私はその夜、大阪へ行く事になつてゐたので、出ようとするとスパイの奴が停車場まで見送りしてやるとの事た。仕方なしに鳥取縣の米子へ十二時頃着いた。こゝで私は生れて初めての示威運動を見た。メーデー歌を唄つて約三千の農民と勞働者が、警官に守られ乍ら進んでゐた。政研米子支部の連中が一團となつて隊伍の中で氣勢をあげてゐるのが見えた。

メーデーの列が引上げてから私は今は××煽事件で入獄してゐるS君の家へ行つてゐると、

「政研の旗があるか」と入つて來た奴がある。私はこの男がスパイであるかどうかに氣が附かなかつた。—私はそれほど階級運動に幼稚であつたのた。S君のお母さんが「そんなものありません」といつたが、私は馬鹿正直に無い事をたしかめてやつた。全く馬鹿々々しい話ではないか。今から考へると旗があるとスパイの奴にたまされて持つて行かれたかも知れない。其處へS君が勞れて歸つて來て、おい君あいつは憲兵たよ、君あんな者とかゝりあつては駄目たよと叱言を云はれた。その夜私は大阪へ立つた。私の關係したメーデーの最初の想ひ出は、苦笑と微笑につゝまれて甦つてくる。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

農民に土地と自由を與へよ！

―赤旗をかざしてメーデーに參加せよ―

伊倉繁郎

五月一日――此の日はかつてアメリカの勞働者が大衆的示威運動によつて大資本家共を一擧にして戰慄せしめ八時間勞働を實施せしめて萬國の勞働者に其の輝ける闘爭方法を身を以て敎へた日であり其の後全世界の勞働者が此の日をもつて一齊に大示威運動を擧行し世界の資本家共に對する國際的闘爭の決行日となつてゐる。

一九二九年五月一日は丁度國際的には第四十回目、日本に於て第十回目の闘爭日である。日本に於ける此の闘爭日の合法性獲得も只易々と政府様から與へられたのではない。それこそ日本の闘爭的勞働者達が血によつて戰ひとつたのだ。第一回、第二回當時の話をきいて見よ。如何にして我々の先輩が勇敢に我々の大衆的闘爭を守つたか。

血によつて輝ける歷史を有つ第十回のメーデーは來た。都市勞働者は勿論發動機をとめ、ハンマーを投げ、ボイラーの火を消し、車をとめて街頭に其の逞しい未來を語る巨體を現し反動的帝國主義ブルヂヨアジーに對する大闘爭をして此の日を飾るだらう。

だが全貧農民諸君もまた此の闘爭に積極的に參加しなければならないのだ。何故に――

貧乏百姓は誰にいぢめられてゐるか

それは地主から高い小作料をとられてゐるからだ。税金品物が高いからだ。政府といふところには地主や資本家ばかり威張つてゐておまけに村役人までが威張り散らすからだと、今日の小作人達は迷時に明答する。そうだ、その通りだ。決して百姓が生意氣に米の飯を食つてぜいたくをしたからでもなければ、仕事を怠けたからでもない。切角汗や油やで作つた米は半分以上三分の二までひどいのになると皆まで小作料として強奪されてゐるではないか。その上税金ときたら國税、縣税、村税附加税としぼりほうだい取立てて、其の金で政府で威張つてゐるのは金持だけだ。おまけに餘り無理してしぼられながら働いたお陰で貧乏といふ者まで×つて買つて一寸でも頭を上げたら獲られる。だから日本の農村でどこの村へ行つても借金取と執達吏の歩かぬ所はないといふ結果になつてゐるのだ。

皆地主のしわざなのだ。そして其の總本部は此の地主と地主の兄弟分たる資本家の共同經營者××會社××××なのだ。しかも此の政府と頭取と支配人とは資本家で、勞働者は勿論のこと小作人といへども資本家様の同意と指示がなくては下手に目こぼしもならないことになつてゐる。地主と資本家とは我々の頭の上で其の汚い腹をたぷつかせて固い固い握手をしてゐるのだ。

道理さ、小作農民が飢に腹は代へられぬのでロシヤの過激派だ、社會主義でこわいものだと罵られながらも農民組合をつくり小作爭議を起し、大衆的な力によつて小作料減免運動を始めたが地主の×奴は此のパンを求めて立つた百姓にパンの代りに石を與へたのだ。即ち問題を法律に（奴等が勝手につくつた）裁判所に訴へ、支拂命令から土地返還に、差押から立入禁止處分に――今や地主共は××政府といふ莫大な權力の援助の下に飢に泣く小作農民から土地を××し一切の生活權を踏みにじつてゐる。

農民に土地と自由を與へよ

此の要求は此のスローガンは決し何處から生れて來たものでもない。若し誰かゞ無理に言はしめてゐるかの如く考へるものがあつたらそれは大きな間違ひだ。かゝる窮迫した條件の下に直に戰つた日本の貧農民自身の口から強く叫ばれてゐるのだ。

生活が窮迫するから要求する。要求すれば土地は取り上げられる。それに反對すれば暴力行爲、治安維持法等で刑務所に入れられる。そこで農民が我等に土地と自由を與へよと叫んで起たないならそれこそどうかしてゐる。だが農民自身がこうして土地問題の徹底的解決を要求して起ち上つて來る時、之を取上げやうとしないで逃腰をかまへながらごまかさうとするけしからぬ奴がゐる。それは社會民主主義者といふ表面勞働者や農民の味方をしてゐて其の實資本家や地主の味方である小ブルヂヨアの裏切者である。彼らは小作人を解放しなければならぬと言ふ。耕作權を確立しなければならぬと云ふが愈々となると化の皮を表してしまふ。即ち小作人を解放するには耕作權を確立するには、資本家地主の政府に頼んで地主は餘り小作人をいぢめない小作法をこしらへて貰ふといぬかす。うまくごまかすない。直に小作人を解放するに小作制度其のものをなくしないで出來ると思ふか。土地を農民に與ふることなくして土地を地主が持つてゐる耕作權の確立が出來ると思ふか。

では一體かゝる農民の要求を誰がきき入れて與れるのだ。誰が本當に農民に土地と自由とを與へるのだ。それは勞働者だ。眞の戰闘的プロレタリアートのみがよくかゝる要求を取上げ最も勇敢に其の實現の爲に戰つて與れるのだ。そこで農民は自分の要求を完徹する爲めには先づ

戰闘的勞働者との同盟を

結ばねばならない。勞働者と云つても勞働總同盟の鈴木文治や總聯合の坂本孝三郎の樣な奴ではいけない。奴らは先にも言つた通り勞働者農民の味方面をした田中內閣の手先体なんだから。

では眞の戰闘的プロレタリアとは何ものであるか。それはプロレタリヤの歷史的使命の下にマルク

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ス主義レーニン主義をよく理解し且戰鬪的な革命的勞働者達と手を握り何等いつはる事なくごまかす事なく農民に土地を與へる爲に「地主所有土地の「××」「資本家地主の政府を倒せ」勞働者農民の××を造れ」と迫害と彈壓の荊路に戰つてゐる勞働階級の事である。

今の社會は資本主義社會である資本主義社會に於る權力者は大資本家だ、だが勞働者階級の反抗の爲に資本主義革命を完了する事の出來なかつた、即ち封建的地主階級を駆逐し盡してしまふ事の出來なかつた日本のブルヂョアジーは地主と妥協してしまつて政府をつくり、其處で資本家と地主とは共同で或は勞働者には安い安い賃銀で十二時間以上も働かせ、產業の合理化とか何とかで勝手に首を切り、失業させ、農村からは高い小作料を取立て、ぐずぐずしてゐたら土地を取上げると言ふ官僚獨裁の專制政治を決行してゐるのだ。

かゝる資本主義社會を倒し新しい社會を建設して行くものは誰かそれは資本主義制度の下に資本家の下に直接搾取せられ、いぢめられてゐるそして其の爲めに最も勇敢に反抗し鬪爭をしてゐる勞働階級以外にはないのだ。

資本家と地主とは同盟し共同政府を造つて勞働者と農民をいぢめ拔てゐる。此下にある農民は其の兄分であるプロレタリヤートと協力し同盟を結び地主資本家の政府と決定的鬪爭をする事なくしては絕對に完全なる勝利は望み得ない

我々は今や農民の土地に對する要求と、勞働者と農民との同盟をそしてまたかゝる我々の主張に反對する裏切者社會民主主義者の排擊すべきことも言つた。閉會後に此の土地の問題、同盟の問題、裏切者に對する問題を最も明瞭に理解してゐる農民團體は全國農民組合であり、かゝるが故に過ぐる三月の全國大會には特に此の問題を深刻に討議し、淺沼稻次郎、三宅正一等の如き裏切者達は完全に葬られたが我々の日本大衆黨に對する清黨運動が彼らの裏切者を早くから暴露してゐたためにまたそれが強く全國に更に此の大會に反映してゐたがために顧みる者もなかつたと云ふことを附言しておかう

反動の嵐を衝いて一九二九年のメーデーを

組合は強制的に潰される。裁判所は露骨に地主の御用振りを發揮してやたらに立禁をする。前衛鬪士は投獄される。山宣が殺される。白色テラーが白晝公然と横行する。日本資本主義の矛盾は極度に激化して來てゐるのだ。地主資本家の政府は十七億の軍事豫算を議決して帝國主義戰爭の準備をしてゐる。之が一九二九年を彩る日本資本主義の特徵なのだ。

進め戰鬪歌

(一)黄金によろほへる
資本の牙城は高く
壓制に惱みつゝ
吾等の鐵鎖はきれず

折返し
いざ進めく
農村に工場に
突擊の聲高く
鬪ひ今やせまる

(二)○○の鎖切れて
聖戰は近く
解放の鐘のもと
ブルヂョア撲滅ぞ響く
(折返し)

(三)立上れ同胞よ
正義は今ぞ燃ゆる
○○の日は近く
未來は我等のものぞ
(折返し)

(四)振りかざせ赤旗を
よろこびの勝利へ
民衆は野に山に
凱歌を今ぞ擧ぐる
(折返し)

赤旗の譜

反動の嵐は強い。だが我等は決して怯みはしない。また怯んではならない。強い嵐は鬪士の意氣をして益々高からしめ、頑强なる勞農大衆の不平反抗の聲を益々煽り我等の戰鬪的組織は益々強固に其の根を大衆の中に張つて行くのだ

我々は此の反動と鬪爭の中に一九二九年の五月一日――メーデーを迎へる。勞働者は勇敢に大膽に工場の煙をとめ、電車をとめ、解雇をものともせず街頭に飛び出してメーデーに參加するのだ。そしてその大衆の偉力で八時間勞働の制定を解雇反對を賃銀値上を要求し、爭議を解決し、資本家を戰慄せしめるだらう。

全國の貧農民諸君！全國農民組合の戰鬪的農民諸君はもとより、中部農民組合、全日本農民組合、中央、東海と云はず總同盟と云はず一般未組織農民も女も男も老も若きも、こぞつてメーデーに參加せよ！ダラク幹部なんか問題でない。諸君の唯一の味方は勞働者だ戰鬪的勞働者は諸君の參加を喜んで待つてゐる。そして諸君の要求たる「農民に土地と自由を與へよ」「立入禁止絕對反對」のスローガンを諸君の爲めに揭げてゐる。

五月一日、農村では立禁の嵐の最も強い時だ。全農民諸君！五月一日を勞働者と共に否全世界の勞農大衆と共にメーデーに參加し大衆の力で立禁を蹴飛ばし、官憲の彈壓をはねのけ、諸君の爲めに戰つた前衛鬪士を奪還し、迫り來る帝國主義戰爭を一蹴し、資本家地主の政府を××し其に土地を我々の手に××する爲め鬪爭せよ！

農村に於ける「進め」讀者諸君！

諸君は此の鬪爭の爲めに全努力を傾注しなければならぬ。諸君はもとよりだ。いやがる農民をも引づり出して參加せしめなければならない。其の爲めには小作爭議を激化せしめよ！

村民大會、農民大會を開いて値要地主と鬪爭せよ！

代表者會議を開け！演說會、座談會を開け！ビラをまけ！ポスター、デンタンをはれ！

地方で警察が許さぬ所では、其の爲めの大衆鬪爭を捲起せ！

地主何ものぞ！××何ものぞ！勝利は我等のものだ！

かくて一九二九年のメーデーを一大政治鬪爭にまで戰ひ拔け！

立禁絕對反對だ！
土地を農民によこせ！
治安維持法を粉碎せよ！
社會民主主義を葬れ！
帝國主義戰爭絕對反對だ！
地主資本家の政府を倒せ！
勞働者農民の××をつくれ！
戰鬪的メーデー萬歲！

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

常に一歩もふみ出し得ない左翼

——(日和見主義者はかく戰ふ)——

吉田源藏

（一）

日本大衆黨が結成せられて、吾々が最も多く教へられたものは、「日本大衆黨左翼分子の任務」についてゞあつた。そして、その數多き文献や忠告の内で、最も奇抜な輝かしきものは「戰鬪的マルキスト理論雜誌」の編輯者によつて「舊新黨準備會大衆に對して、如何なる態度を取るかは、現在與へられたる瞬間に於て、日和見主義と正統左翼を區劃づける明確なる分界線である。筆者はヨキ問題をヨク提出してくれた」と、激賞された、高田町の住人水野晴住クンの「日本大衆黨左翼分子の任務」なる、雜誌「勞農」四月臨時號に展開せられた論文である。吾々が今同志水野クンの論文を、奇抜で輝かしい文献だと言つたのは、同クンが如何なる立場に立つていられるのか、そして何を吾々に示されたのかサッパリ見當が付かない、只吾々をして煙に卷いて仕舞ふところに眞價を認めたからである。同クン自身はさうやら「左翼」を以て任じられているようだが——左翼の任務を教へられるところを見ると——同クンは左翼と云ふ言葉を何と解して居られるかゞ不明である「戰線の統一へ！」の書き出しは實に左翼的である。そして舊日勞黨の提灯をいさゝか持つて居られる。たが舊日勞黨が「ブルジョアジーに對する闘爭力はいちじるしく減じていた」のは眞實に「左右の分裂主義者と闘つて來た」からではないのだ。かく申す私も舊日勞黨員で、左右の分裂主義者と闘つて來たが、實は、吾々はその故に「戰線の統一」を妨げられ、闘爭力をいちじるしく減殺されて來たのであつた。それは、黨の指導者共は、「左右の分裂主義者」と眞に闘ふことをしなかつたからである。吾々は左右の分裂主義者が眞に「戰線の統一」を妨げていることを知つてゐた、それ故に、左右の分裂主義者と闘ふことを約束し、「戰線の統一」を遂行することを約束する、舊日勞黨の指導者共を支持し、その統制に服して闘つたのであつた。ところが、彼等の左右の分裂主義者への闘爭は、同志水野クンが提灯を持つてゐられるように、「ブルジョアジーに對する闘爭力を著しく減殺する」ところの闘爭であつたのだ。それ故に彼等は、彼等の唱へる「戰線の統一」は、眞にブルジョアジーと闘爭する爲めのものではなかつたのだ。だから吾々は、舊日勞黨時代から、彼等とかなりた闘爭をやつた。だがしかし、その都度吾々は旨く胡麻化されてゐた。そして七黨合同も胡麻化されながら、彼等が眞に無產階級の黨の建設の爲めに合同すると云ふのだから引き連られて來たのであつた。だが彼等の正體は、七黨合同の瞬間から暴露せられた。

彼等の正道確立、彼等の左右の分裂主義者への闘爭、彼等の戰線の統一は、眞にプロレタリアーの×への正道確立でなく、プロレタリアーの×への行程への障害である右翼清算主義者、左翼清算主義者への闘爭ではなく、彼等の戰線統一は眞にプロレタリアーを大衆的に組織し、それの方向を與へる力とを確立する爲めの、即ちプロレタリアーの×の大衆化を以て、階級的戰闘的な戰線統一を志てゐないことがハッキリと證明せられたのだ。

彼等は、七黨合同に臨むに當り「共產主義反對」を決議し、新黨準備會を除外し、無產大衆黨すらも排撃したのであつた。

（二）

同志水野クンは「今後の日本大衆黨は、果して無產大衆の要望を荷つて行けるであらうか」と怪しんで居られるが、今更何も怪しむ必要はないではないか。現に同クンが指摘してゐられるやうに、「結黨何日ならずして、右翼幹部は明かにその非階級的をバクロしている」ではないか。かゝるダラ幹の非階級的をバクロしていることが、ヘッキリと目に映つていながら、「福田狂二一派は、不可思議な——右翼の陣營にゐながら——左翼に反動的行動をなしつゝ——左翼清算運動とかを起してゐる——行動をとつて左翼陣營を攪亂させ樣としてゐる」とは何事だ。

同志水野クンよ！吾々はハッキリと吾々の立場と、現に吾々の闘爭している陣營を名乘つて往かう。吾々の立場と、吾々の闘爭している陣營とが、右翼と名付けられようと、左翼と名付けられようとは、それは同志水野の御勝手だ。吾々の立場はかうだ、吾々の所闘は現在此處だ。忘れないように覺へて置け！

吾々は縱あつて！それも胡麻化されて、舊日勞黨へ組織された、そして、現在の日本大衆黨に所屬し、「……非階級的をバクロ」した反動幹部とゝそれの手先きと、それ等へ追隨してゐる紳士諸君を、徹底的に叩き潰して、眞實にプロレタリアーを大衆的に組織化し、それと、それに「方向を與ふる力」とを確立する爲めに、言葉を換へて言ふならば、プロレタリアートの×の眞實の大衆化によつて、これのみによつて「戰線の統一」を完成する爲めに、かゝる仕事を支配階級と通謀して邪魔立てしている、プロレタリアーの×に對立しているところの一切のものと、これ等の主人と闘爭することを、日本無產階級に約束し、此

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の綱領を行動によつて守つて行くところの「労農運動同盟」の一団であり「進め社一派」なのだ。も一ツ同志水野クンの得心の行くように名乗つて上げようか「稲田狂二一派」と云ふ「ダラ幹排撃者」「反動撲滅派」「左翼陣営を攪乱させ様としている」一味だ！だが同志水野クンよ、間違つては不可ない「左翼陣営を攪乱させ様としている」の「左翼」とは、雑誌「労農」の執筆者の立て籠つている日本大衆党内の「横断左翼」の「左翼」を意味するのだ。建国党の委員長麻生を、日本大衆党から組合同盟へ帰還してから、ダラ幹征伐を約束する関東合同の刷新組合左翼骨抜ひにしたり「党幹部諸君――主に河野、麻生、三輪……」の一連の反動ダラ幹から田所輝明を殊更に除外するような、「ほんの一歩――明かに同一方向へ――行き過ぎたゞけで真理は誤謬に転化する」ことを、機械的に詭弁して、恰も、羹に懲りた奴が膾を吹くように、一歩進めば直に行き過ぎるかに考へて、一歩ふみ出すことすら出来ない「左翼陣営」に巣喰つている「左翼分子」を吾々は此処では左翼と申し上るのである。

同志水野クン！

仰せの通り、日本大衆党左翼諸君（同志水野クンを含めて）が新党準備会の諸君の誤謬を示摘し、又排撃することが諸君を（水野クンも共に）純正マルキストにする理由にはならないのです。実に其の通り！その誤謬とは同志水野クンをも含めての「左翼分子」が指摘するところの、新党準備会の諸君の誤謬は既に清算されているし、それを今た繰り返すに過ぎない見解はづれの「誤謬」たからである。かゝる誤謬の指摘を得々として行はれる諸君は「純正マルキスト」ならざるのみならず、最早吾々には「同一陣営の人々」とは思へないのである。只だ之に同一陣営内の人々と思はないのみならず、プロレタリアーの×を正面の敵とするブルジョアジーの手先きであり同盟者と見るのであるたから吾々は「左翼に色目をつかう」のみならず、「左翼」を以て自任する諸君の陣営迄も「攪乱させようとする」ところか、実際に真実に、本気で攪乱するつもりなのである。実に吾々は「日本大衆党の左翼分子」の今後の活動が重大な問題であり「今後の無産階級の陣営（然り陣営）に重大なる意味を示すものである事を忘れてはならぬ」ことを考へているものである。

（三）

同志水野クンの奇抜な論文は第二冊に這入つて益々その世界的文献の輝きが閃く「前文にて言へる如く」とて「現在の新党準備会の諸君のとりつゝある道は明かに誤謬である」と、同クン自らは指摘排撃していながら「左翼の諸君」（日本大衆党のだ！）に教へられる。「労農同盟――新党準備会――の現在とりつゝある誤謬を示摘して排撃する事が諸君の任務ではない」と。只労農同盟に対して恐付き、排撃し得るの権利を有するものは、雑誌「労農」の寄稿家諸氏からなるところの「左翼」しかも正統左翼と称するプロレタリアーの×の対立物のみなのである

同志水野クンは此処でも又日本大衆党の左翼分子に教へられる。「強固なる陣列を敷いて（これは恐らく横断左翼結成によつてと云ふ意味ならん、しかもプロレタリアーの×と大衆とを切り離す横断左翼結成によつて！）内部的には右翼的幹部を清算し、しかして外部的に社会民衆党の左翼分子の獲得と其の下部に位する反動幹部の排撃を行ひ、労農同盟を外囲（外囲で御座いますそうです！）より支持せよ」と。即ち外囲よりそつと支持して居れは――しかも黙つて、若し文句を云ふ場合は吾々が（水野クン等を指す）文句を付けるから――左翼の陣営（此の場合の左翼の陣営は何を指すか、吾々は水野クン等と解す）が強固になり、そしてその団結の威力で、客観的情勢が変革出来るし、この客観的情勢の変革は、労農同盟の誤謬を示摘排撃せずして、それを正しき階級戦の正道に立脚せしむるのたそうたが、「示摘排撃せずに」しかもそうすることが正道に立脚せしむるやうな誤謬とはどんな誤謬であらうか。

吾々は卒直に云ふ、その誤謬とは戦線分裂を、戦線統一の名で胡麻化す為めに、人には使はせぬ伝家の宝刀であらうと。

同志水野クンよ！労農同盟は今日諸君の支持を絶対に排撃している。諸君が「左翼分子」に外囲よりの支持を教へなくとも、教へないが、そして教へない以前から最早既に外囲どころか、真当の「戦線統一」の立場から支持しつゝあるのだ。日本大衆党の左翼どころか、右翼でさへも――稲田狂二一派の右翼の陣営に居ながら、反動的行動を為しつゝある清党運動者でさへも――労農同盟支持ところか、プロレタリアーの×の大衆化、即ち戦線統一の為めに七党合同に参加したのだ。吾々の称ふところは「不統一の左翼陣営（従無産大衆党や、組合同盟刷新派、労農大衆党）が整理することや「左翼の脱退や右翼の追出しを要求せずにカキ集め党を只管平和に「死守して」乗つ取ることではなく、真当の右翼と、真当の左翼との間に「正統左翼」と自称して、戦闘的労働者と農民が、プロレタリアーの×へ進んで行かうとする道を邪魔立してゐる「横断左翼」論者の消へて無くなることなのだ。

オットとつこい、此処でも一歎なことがあるぞ！同志水野クンは「吾々は更さらに左翼の脱退、又右翼の追出しを要求するものではない」と云つた筈だつけ。それにとうた！「党内の反動的右翼を排除しなければならぬ」と云つてゐる日本大衆党内に反動でない右翼がゐるかね？

ヘヘ――ン平野が反動右翼で麻生が右翼なのか。ソレで分つた！右翼を追出す必要のないことが、「左翼」と称する同志水野の一派横断左翼は平野たけを追ひ出せはよかつたのたつたつけ。

これこそ実に、「日本大衆党をあく迄死守し続ける階級的単一無産政党たらしむ可き」ことなのたから！

去らば同志水野クンよ、日本大衆党を死守し給へ！　サヨナラ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

資料

朝鮮社會運動小史(二)

裵成龍

K・K・M 譯

以上に於て述べたる如く各團體の活動分子の抱懷せる思想に依つても、その不統一なる組織體であることが判然と知るであらう。卽ち、ブルヂョア的或ひは階級的文化に憧憬を持つてそれらを建設せんとし、或ひは漸進的改良主義を主張して微溫的勞働文化を普及せんとするものもあつた。而してまた他の一面には無產階級の×××を絕叫し、或ひは××××××を主張して××的運動を提唱するものもあつた。

斯樣な狀態であつたゝめ、各方面に於て、又は各團體の內部に於て「無產階級の生存權を確保せよ」といふスローガンの下に旗色を鮮明にする社會運動家のみが集合する機運が熟し一九二二年一月京城に於て尹德炳、金翰、申伯雨、元友觀、李浚泰、朴一秉。李英、故金思國、李準泰、李赫魯、故白光欽、陳秉基、金洪爵、金泰煥等十九名の發起に依り組織されたのが卽ち社會運動團體「無產者同志會」である。同會の創立總會に於て決議したる事項を一瞥すると

一、無產者の生存權を確立するための綱領を制定すること
二、會規は委員無頭制にすること
三、機關紙「無產者」を發行する事
四、會館を建築すること。但し工場に通用出來るやう廣大な地下地にすること

如斯裏面から無產者の×××を目的として出發する思想運動團體は朝鮮に於ては之が嚆矢である。

けれども之は各勞働者團體よりは、遊民俱樂部、或ひは高等浮浪者の集會所とまで云はれるほどで同會に對する世人の態度はあまりにも疎遠であり冷酷であつた。彼等の集團は無產同志會ではなく無算派止會であると嘲笑と侮蔑が數多く差向けられた。けれども該會が發生し不活潑ながら微溫的ではあるがその全運動は朝鮮社會運動史上大なる功績を現はしたことは同時該會の活動を起因に波動された數々の諸社會團體に據つても證明されるのである。當時の常務委員金翰、李準泰、李赫魯、元友觀等諸君の努力に依り、機關紙「無產者」が前後三次に亘り編輯されたが當局の苛酷なる處分に依り結局創刊號も世に出ずに濟み其の工場通用會館は京城市內觀水洞に四十餘坪の地下室(穴屋)を建築に着手したる廢墟工期に到り之もやはり成功することが出來なかつた。

◇ ◇ ◇

斯の無產者同志會が組織されて間もなく京城に於ては一大社會事件が惹起された。卽ち故金允植(註1)氏社會葬問題がそれがある。

新聞「東亞日報」の幹部連が主腦部となり其他一般社會の文化運動者乃至名利家、封建的特權階級等が相呼應して行ふ處の金允植社會葬發起に對して朝鮮勞働共濟會員無產同志會員等が主動となつて朝鮮學生大會、苦學生親睦會其他一般社會の有志も之に參加して同社會葬發起に激烈なる反對を提唱したる事件である。問題の人金允植氏が社會の信望する理想的人物でないばかりでなく主催者側より何等の承諾問議もなく各階級人士の姓名を自新聞紙に發表し其他學生行列、葬費徵收等の獨斷的事實があつたため社會の輿論は愈々沸騰し、この輿論は更に階級的輿論を釀成せずにはをらなかつた。之は一般文化主義者連の社會葬贊成に對し見解を異にする反對的主張で專ら階級意識的色彩を帶びた對立であつた。けれどもこの激烈極まる輿論とその鬪爭氣分もやがて主催者側の發起取消に依り中止するに至つた。勿論この問題は直接的に朝鮮社會運動には何等の關係がある譯でないがこの事件は事實上朝鮮に於ける始めての貴族階級又は兩班階級に對する一大挑戰であり同時に將來に於て斯る特權的優越的地位を夢想する者に對する無產階級の警告であつた。

註 1「金允植は韓國時代の大臣級の人にして日韓合併後は合併功勞に依り大日本帝國貴族子爵の地位にあつた。けれども同氏はその榮爵が不純であつたことを悟り彼の三一運動當時朝鮮を脫出して上海方面に走つて活動したる貴族社會に於ては變り種であつた—(譯者)」

◇ ◇ ◇

之に引續いて社會的に一大風波を起したのは彼の一九二一年秋よりその內容の一部が爆露されて來た詐欺共產黨事件である。之は上海にある高麗共產黨(第八社會××黨の名義を變更したるもの)に受けたる共產主義宣傳費を盜用消費したと云ふ事件であつた。其の金額は四萬圓或ひは八萬圓であると云つてゐる。この金は共產黨の宣傳費として送られたのであるが朝鮮內で之を受取つた者の大多數は朝鮮勞働共濟會、朝鮮靑年聯合會と云つたやうな比較的大規模の團體に屬する幹部級の文化主義者卽ち假裝社會運動者連であつた。彼等はこの兩團體の事業遂行上に要する費用が缺乏して故張八鉉、吳祥根、張德秀等九人の一團が受取つたものであると云ふ。聯合會に於ては嶺南、湖西等に地方巡廻講演を行つたことがあり、その機關誌「我聲」を四號發行したけれども之等はその事に依つて各個人の勢力を獲得するために汲々とし、料理店の出入、自働車の乘用等に暇なかつたためその莫大なる金錢が消費されたと世人の非難が多かつた。そのために彼等は相當に社會的信賴を有し乍ら組織內部に於ける裏切り者に對する非難と排斥熱のため勞働共濟會に於てはこの事件に關聯する會員を除名處分に附しソウル靑年會に於てはそれらの不純分子を除名した。彼の一九二二年四月の朝鮮靑年聯合會第三回定期總會の時に臨みソウル靑年會に於て派送したる代表金思國[illegible]離脫が惹起したる離脫事件

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

關係者除名案は一時大紛爭を惹起せずにはをかなかつた。その當時の理由は異つてゐるけれども、その論爭の對立のため結局前記ソウル青年會代表外十八個團體の脫退を見るに至り、其の後にソウル青年會外五箇團體の進出をもつて詳細なる說明書まで送つた。いまその時に發表した聲明內容の大綱を要約すれば

一、『我聲』四號發行と數所巡廻講演のため万圓に近き巨金を消費したる事

一、巡廻講演を嶺南と湖西のみに於て實行し北道及び湖南を除外したる事

一、委員長及び委員二名の辭任要求

一、ソウル及び湖南青年會の脫退が取消すべきであるといふ意見

一、其他幹部怠慢に依る會務不振の問題

等である。斯くして聯合會は聯合會の細胞組織である各地方青年會に於て彼等不純分子が處分する處となり從つて聯合會の幹部も同時に解任されるやうになつた。これに依り彼等は凡ゆる社會的團體の要職を放棄せざるを得なかつたが、この詐欺共產黨事件は未だ發生初期にある朝鮮社會運動に多くの悲況を流したのは云ふまでもなく、その後に於ける朝鮮社會運動の凡ゆる分裂軋轢等の不祥事も之が源となるのが多い。殊に茲に特筆せねばならぬことは其の代表を聯合會に派送し詐欺共產黨事件關係者の除名を力說したるソウル青年會は其の存在が愈々社會的に進出し、同時に會自體も無產青年運動の色彩を濃厚に有つやうになつた事である。

◇　◇　◇

この詐欺共產黨事件に關し輿論の沸騰した春に至り無產同志會を中心として社會運動に志す人々の集まりが懇談會の形式を以て京城に起つた。この會合に於て以後の朝鮮社會運動に對する趨勢と進行方針等を相互研究し討議した。即ち、各方面の運動が其の性質に應じて分化する必要を論じ、其の部門的分立を主張するやうになつたのもこの會合であり、その主張の一致可決した部分と云ふのは社會運動を思想、勞働、青年の三部門に分類することであつた。

此會合に參席したる諸君は恐くが朝鮮勞働共濟會、無產同志會ソウル青年會等の活動分子で已に各所屬團體の性質を透して各が部門的分立運動を續行してはゐたものであるけれども、其の運動の分立目的を意識し指導するやうになつたのは之が始めてゝある。これより朝鮮社會運動はその年期があまりにも淺きにも係はらず鮮然たる秩序の下に行動の規模を擴くに至つた、

茲に一言附記したいことは無產者同志會幹部金翰君が國外に於て働く義烈團即ち發覺せざる前の金相玉事件に關係を持ちやせぬかと云ふ嫌疑を同志より受けたことである。その事件が發覺せざる前まではそれが如何なる事件であるか如何なる團體であるかは全く解らなかつたけれども兎角金君が秘密裡に海外の諸君とある種の連絡を有つてゐる事實を暗々に知る處となり、恰も詐欺共產黨事件に對する世論も八釜しかつたので同志等は金君の態度に多くの不滿と疑訝を有つてゐた。斯る事件は社會の表面に社會運動の線上に何等の波動を現はした譯ではないがしかし乍ら同志を不信の結果監視し、その結果は相互の感情上の衝突を引起して運動に於て對立、分裂への導火線とならしめるのは戰線の大なる損失でなければならない。斯くして前記金君に對する疑問が原因となり勞働團體及び思想團體の間には漸次疏遠となり感情の作從が月を重ねると共に深くなり同年の秋期に相互の連絡は殆んど斷絶するに至り、無產者同志會及びソウル青年會の間には分裂の騷ぎまで釀じたのである。この時にソウル青年會が始めて、朝鮮社會の實狀に鑑みて青年團體が勞働運動思想運動の各方面に果敢なる鬪爭を兼ねて遂行することが可能であり、またせねばならぬと云ふ態度を表示するに至つたのである。

◇　◇　◇

これまでの朝鮮勞働共濟會はそれが無產者の團體であるか、若くは勞資協調を目的とする機關であるかその色彩が實に不明瞭であつた。此は初め朝鮮社會の思想的分野が左程に明確でなかつた事實に基因するものと云はれるけれども同會の斯る曖昧に對してはその內部に於て働くプロレタリアの意識を有するものにとつて極めて不滿を抱く要素となつた。而して彼等は不鮮明なるこの主義行動に對して莫大なる苦痛を感ぜずにはゐられなかつた。斯くして一九二二年の夏より故白光欽、申伯雨等數人の主張に依り同會の改革運動が始まり會長制を委員制に改正し、地方の各支部を改革若くは整理してその改革が意の如く進捗出來た。しかし乍ら當時所謂共濟會紛糾事件が突發したのである。この事件は前記詐欺共產黨事件に依り除名された前共濟會員數人と現幹部の事務執行に不平を有する數人の會員が結托して現共濟會幹部を襲擊した事である。そのために共濟會の幹部は其の襲擊事件の顛末を聲明し同時に同襲擊の主動者數名を會籍より除名して了つたのである。

當時京城に於ては無產青年の啓發を目的とする青年團體が組織されこれは金丹俊、李成泰、李炳立、金榮義、故金無、金基寶外十餘人の發起せる無產青年會であり、平壤に於ては平壤勞働同盟會が勞働階級の解放を主張する目的の下に組織された。

また京城に於ては朝鮮勞働聯盟會と云ふ聯合團體が組織された。これもまた十月中の出來事であるがその前身は前記の如く改革されたばかりの朝鮮勞働共濟會であつた。已に論じたるが如く共濟會は勞働者の解放を期する階級的團體でなきが故にその運動上種々と障害を來した。之が故に京城本部に於て總會を召集し同會の解體を決議して、更に朝鮮勞働聯盟會といふ新組織を持つやうになつた。之は從來の勞資協調的精神を排斥して眞に階級意識にさめた勞働者のみに依つて組織されるに至つた。その加盟團體は京城[illegible]從業員會、京城印刷職工親睦會、京城洋服技工組合、晉州勞働會、大邱勞働共濟會、安東勞働共濟會、京城勞友會

（以下二十一頁へ）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

故山本宣治氏闘争記錄の一頁

資本家地主政府の警察行政に關する質問

山本宣治

私の質問は豫算分科會の職分としては內務省所管の重大部分を占める警察費の使用に關してゞあります（中略）それで四日の豫算委員會で一松委員が、掻摘んで申しますると、京都に於て大典の前後に長期の檢束が行はれたと云ふ事實を述べて、一松氏は「之が適法なる行爲でありますか如何でありますか」と問ふて居り、それに對する秋田政府委員の御答は「御承知の通り檢束は檢束を致しました翌日の日沒迄と云ふことになつて居るやうでありますが、是は多分相違がない積りであります云々」「其法規に背いて不當に只今御話の如く十八日間も檢束を繼續すると云ふことはあり得ない、事實さう云ふことはないと信じます」と明かに御答になつて居つて、其後別段取消がないやうであります。さう信じましても宜しうございますか

秋田政府委員　左樣でございます

そうしますと警察に於きまして、あり得ないと信じておいでになるそれに關して、監督の位に當る官吏の方々は御存知ないかも知らぬが、私共解放運動に從つて居る者は、屢々檢束の憂き目に遭ふことがある。其日に遭つた者として、私は一つの事實を申し上げて當局の所見如何と云ふことを質したいと思ふのであります。事は田中內閣の問題であります。多少古い話になりましたが、一昨年の八月二十四日に私は自分の郷里であります京都府宇治町で、丁度八月の十日に父を喪つて、父の葬儀や色々な雜務をやる爲に家に歸つて居りました。其時に父の死後丁度二週間後に突如宇治警察署から召喚されて丁度當時雜誌「インターナショナル」の發行印刷人でありましたから、それに關する用務で聞きたいと云ふので出頭した所が、理由を示さずして直に貴方を檢束する。京都府警察本部の命令たから、檢束の理由は何であるか分らぬ。兎に角居つて呉れと云ふので、二十四日から二十九日まで私は宇治警察署に居りました。檢束されて居つた。それで出る時に所持品を貰ふ時に圖らずも見た檢束文、其文句を見ますると「山本宣治、右は宇治町塔の島附近を排徊し、公安を害する行動ありたるに依り云々」と云ふことがある。それが第一日であります。それから第二日は又他の社の名前が違ひてある。縣神社を排徊したと云ふ妙な事で、兎に角六日間監禁居りました內に——兎に角六日間警察の中で風光明媚の宇治町は恐く排徊して廻つた事になつて居る。是は宇治警察署の檢束文を御取寄せになつたならば分るのでありますが、それで兎に角翌日日沒を超ゆる事を得ずと云ふ風な明文があるのに、斯う云ふ風な事を實際やつたと云ふ實際證據がある。それでどう云ふ風に帳面づらを合すかと云ふと、毎日夕刻になつて山本さん、一寸來て呉れ、それから是れは豫定の計畫でありますから、煙草を吹かしながら警察の門前に出て行くと——そこらを半町許ぶらついて歸つて來て宜しい、歸りなさいと言ふと豚箱の中に歸ると云ふ風な事で、毎日豫定の日課を繰返して居つたのでありますが、六日も居る間に段々「ルーズ」になつて來て、私は夕刻になりますと睡いから早く寢てしまつて、夕刻になつて門前に出て一應此手續を執ると云ふ事を怠つた爲に、其係の部長は非常に恐慌を來して、翌朝になつて私に懇願して、出た事になつて呉れと云ふ風な事を言つて、帳面づらを合せたと云ふことゝになつてゐる（中略）私の關知しない事でありまするが、勞働者農民の利害を代表して支那へ押渡つて支那の無產階級が如何なる狀態に在るかと云ふことを調査する爲に、無產階級の中の所謂指導者を選拔して、さうして支那觀光團の途に上らうとする決議を東京に於てした。其觀光團の團長に私が選ばれたと云ふことでありまして、私が支那へ行かない爲に、さう云ふ風な一種の豫防檢束と云ふやうな風なものが行はれたことであると云ふ風に其後聞きました。で斯う云ふ風な次第でありまして、私は事實を申上げて、決して臆測ではない、御參考になるやうな事項も今申した宇治に御探させになれば分ることでありますが、斯う云ふものを唯帳面づらだけを合して居ると云ふやうな風な處置は今後も續けられますか、此點を御伺したい。それはさう云ふことをして居ると云ふと、矢張豫算面に重大なる影響を及ぼします、例へば警視廳の管內に於て毎年公安を害すると云ふ名前で檢束される者が大正八年に一萬五千人であつたが昭和元年に及んで五萬二千人餘になつて居る。約三倍強に殖えて居る。斯う云ふ風なことで自然さう云ふ風な方針を續けて行けば留置場も大きくしなければならぬと思ふ。其點で斯うした豫防檢束と云ふものを事實上不合法の處分である事を、恰も慣行の如く行うて

去る三月五日無產階級の政治闘争史の一頁を鮮血を以て彩つた山本宣治君は眞に勞働者農民の解放の爲めに、言論の自由を奪はれながらも常に資本家地主の牙城に肉迫したのである。以下掲載するのは昭和四年二月八日衆議院「豫算委員會第二分科會」における山本宣治君の爲した有名な質問で不法監禁の暴露と其れに對する質問である。反動の兇徒が白刃を提つて彼を狙つたのも洵に偶然ではない。輝かしくも悲しき吾等の犧牲者として山本宣治氏の闘争記錄の一片を轉載して其の果敢なる闘争の跡を見よう。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

居ると云ふ事實がある。之を當局は如何に御考へになりますか、此點に關して御答へを願ひます

○秋田政府委員　私は此場合、只辻褄が合へば宜いと云ふやうな形式的の御答辯な申上げることを好みませぬ。只今山本さんの御話でございますが、是は先刻鬼丸さんから矢張同樣の御質問がございまして、それに對して私は御答を致して置きました。御聽取下さいましたならば、それと同樣な言葉を以て御答を致すのでございますが若し御聽取がなかつたと致しますれば速記錄を御覽下さいますれば能く判るのであります。要するに行政執行法若くは警察犯處罰令是等の法の規定を其法の目的以外に濫用いたすと云ふやうなことに付て昨今多くの非難がございまするが、是は斷じて避けなければならぬ事であります。之を法の目的を超越して他の道具に供すると云ふやうなことは、所謂人權蹂躙と云ふ大きな問題が起つて參るのでございまして、何處迄も之を避けねばならぬ。當局といたしましては十分に警察官吏の上に於て注意をいたして居る積りで居りまするけれども、尙は今後一層此點に付て十分に注意の上にも注意を加へまして左樣な非難の發生致しませぬやうに努めたいと思つて居ります、左樣御承知を願ひます

只今の御話に關して――前に鬼丸委員の質問に應じたと云ふ點に關しては、尙ほ私後程もう一度繰返して伺ひたい點がありますが、今御伺ひして居る點に關しては、盥廻しと云ふやうな事を今後絕對にやらぬ。或は全然それが違法の處置であるから、それをやるやうな係官があればそれを處罰するの意志があると云ふ事を此處で明言されるのですか、それを伺ひたいのであります

○秋田政府委員　監督上十分の注意を致します。之に反した行動を執りました者に對しては相當な處置をする事は無論であります

監督上十分注意すると云ふ御答へでありましたが、其他一松委員の質問に御答へになつた内務大臣又秋田政府委員、横田政府委員の御答を綜合致しまするど、先頃の御大典の前後に各所に於て「御大典檢束」と俗に云ふ所の長期の檢束が行はれたと云ふ事實を御承認になつて居るもの〻如くであります其點と矛盾するやうでありますが、其邊の御所見は如何でありますか、

○秋田政府委員　少しも矛盾はないと考へて居ります。私は御答に際して冒頭に申上げました通り只辻褄を合せて形式的の御答辯を致したくない意味に於て只今御答を申した次第でございますが、各個の事實に付きまして開き直つての御話でありますと又其意味を以て御答を致さなければならぬことになります此點は山本さんとの間に私は妥協を申込む譯でもありませぬけれども、何とか御考が願はれますまいか……

――極めた和氣靄々たる問答で――妥協を申込まれて妥協に應ずる譯ではありませぬが、矢張委員會での席上の御話以外に若くは屢々抗議或は陳情で喧嘩腰で本省へ押掛ける事がある。其席上の事を申上げて特に御反省を促したいと云ふ點を持つて居る。それは、今の大典檢束の問題に關しまして、自由法曹團の代表者神道、上村、水谷代議士、細迫兼光、是等の諸氏が望月大臣とたしか十二月下旬に會見を致しまして其時に色々陳情を申しました所が、大臣の言葉は如何にも御話は御尤もでありさうな事であるが已むを得ない事を、注意をして置いたと云ふ風な意味の言葉があつた、尙又其筋に收監者に若干名が死んだと云ふ報告を聞いて心を傷めて居ると云々と云ふ御話でありましたが、是は人情大臣――内務大臣としてさうもあるべき心配だと思ひますが、そこが鈴木前内相の言ふ親の心子知らずと云ふ風な色々の例がありまして、矢張斯うした席に於て當局は斷乎として行政執行法の第一條の勵行を當局の意圖として居ると云ふ事をきつぱり言明して戴かなければ、妥協では濟むまいと思ふ。法律と云ふものはさう胡麻化しの爲の――只掲げてあるばかりでないから、官廳それ自身の公布した法律を蹂躙して行くと云ふ風な非合法的手段を合法化されると云ふやうな點に付ては頗る若くは、疑なきを得ない。能く解放運動に携はる者が非合法運動と申しますが、決して非合法ではない。官憲それ自身が法を枉げて或は唯辻褄を合す爲に色々の形式を整へてやるが爲に起つて來る。此解放運動が名前だけは非合法と云ふが、實は政治的自由を求むる爲の熱心なる鬪爭なんであります。それで私は其妥協に應ずると云ふ意見は毛頭ありませぬ。矢張何か今迄の檢束が少くなると云ふ風な實效が擧るやうな明言を得たいのであります、具體的に言ふならば地方の留置所の番人或は其檢束した當該の官吏が此責任ある政務次官の御聲明に感激し或は恐怖してそこに今後の處置に偉大なる變革が來るやうな斷乎たる御聲明を願ひたいものであると思ひます

○秋田政府委員　私決して妥協を願ふと申したのではないのでありますから、それは誤解のないやうに願ひたい。只今の行政執行法の勵行と云ふ事に付きましては、先にはつきり申上げてあります。法の目的以外に之を濫用するやうな事があつては相成らぬ。此點に付ては十分に監督上注意を加へます又之に違ひましたる者に付ては相當の處分を致すと云ふ事をはつきり申上げてあります。是はそれで御分り下さつた事と思ひます

只今迄のは檢束の問題でありますが、過日の大典檢束に關しては長期の拘留に處せられた者が多い而も其拘留が矢張先程申したやうな盥廻しの手段であつて、二十九日の拘留を終へて出ると、又次の二十九日を言渡されると云ふやうな實例が多かつたのであります。それで先日望月大臣が本議場で御答辯のあつた其日に、直樣當局は新聞に拘留中病氣を起して死んだ者に對する御調査を發表されました。之に關して當局はそんなことを發表したことはないと秋田政府委員は四日の會議に於て申して居られますが、此發表たるや獨に東京日日新聞のみならず、時事新報大阪每日新聞、大阪朝日新聞と云ふやうな所に於て、殆ど同文で現れて居るのであります。其中で一々事項細に今當局の見た所が違ふと云ふことは申しませぬが唯一例私の最近に調査して參りました京都府に於ける實例で、發表の全文に斯うあります。是は「昭和三年十月二十七日七條署はさかんに社會革命を口にして過激なる行動に出でんとする西村幸三郎（當時二十五歲）を檢擧し其後一二回放免し檢擧を繰返したが結局十一月三日には町の有力者より身柄の引出を提出せしめて放還したり然るに彼は檢束中胃腸病なることを申出

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

でたるを以て署は細井、西川其他の醫師に診斷を求めたる所別段重病にあらざる由にて、其の放還されたる時の如きは彼は極めて元氣で自宅なる下京區東七條岩本町十四番地の自宅に徒歩で歸宅したる程なり、而して同夜九時頃家族知己の者と談笑中遽に苦痛を訴へ僅か三十分にして脚氣衝心に依り死亡したるものなり」それで暴行を受けて死んだものでないと云ふやうな話でありますが、暴行でなくても、拘留處分にあつた人間が、死んだと云ふのは其七條警察署に新しく出來た監房に於きまして十一月末日に三名あります、只今申したのは死んだので、もう一人、大西某なるものが同じく出て間もなく死んで居ります。それから友禪工組合に屬する職工某なるものは是は警察の門前で鐵道の上で轢死したと云ふ例がある。それから尙ほ病氣に罹つて出た者がありますので、聞いて見ますと、鐵筋混凝土の新しい建物で地下室で光を採るのは一方から、風が通るのも一方からであるので、中で全部が殆んど冬は凍傷に罹る。或は脚氣を起すと云ふやうな所に入れて居る。之が御大典に名を藉りて莫大な警察費を要求し、さうして新築した留置所か斯くの如き實狀であるのであります。それで拘留處分に遭つた人間の言葉を聞くと、警察の留置所に放り込まれるより寧ろ刑務所に行つた方が餘程樂であると云ふやうな事を申して居るのでありますが、さうして檢束或は拘留處分に依て警察の留置所の中に居る人間の生活に關して保健衛生的な改良を加へられる意思がおありにならぬか、之を一寸伺ひたい

○秋田政府委員　留置所の改善に付きましては十分に考慮を致します

所で只今御伺したのは犯罪或は今の警察犯處罰令等に依る所の拘留處分でありますが、それ以外に社會的に重大なる問題は、彼の三月十五日未明を期して全國を通じて行はれたる共産黨事件に掛かつた被檢擧人の狀態であります。原法相は就任の當時に當つて犯罪搜査の爲に拘留處分に處すると云ふやうなことはないやうにと地方長官會議で訓示をなされたのでありますが、事實あの三月十五日の未明を期して、各々の家の臥所で平和な眠りを取つて居つた人間が檢擧せられてそれから一箇月、或は二箇月、名前も付けられずに居つたと云ふ。それはさうした次第でありますか、拘留でありますか、強制處分ならば十日を越ゆることを得ずと云ふのでありませうし、犯罪搜査ならば何とか名前が附きさうなものでありますが、全國擧つてさう云ふやうな條件の下に置かれた連中に多かつたと云ふのは、警察政治の點から見てさう云ふやうな名前を附けておやりになつたのであるか、之を伺ひたいものであります

○秋田政府委員　一寸山本さんに承りますが、三月十五日の例の共産黨事件の檢擧の際に安らかに眠つて居りました人々を一齊に檢擧して數日間拘留を致した。それはどう云ふ名前で拘留したかと仰しやるのですか

數日間ではありませぬ、一箇月又は二箇月居りまして起訴にならなかつた者は出た、それから起訴された者は其後引續き居る。其時に犯罪搜査の目的で留置所に投ぜられたのであるか、どう云ふ名目で入れられたのであるか

○秋田政府委員　唯一時を私が瞞着するやうに御受取になられましては甚だ心外でありますが、各個の事實に付きましての調査を終へまして御答を申上げた方が宜しからうと思ふのでありますが、大體私は被疑者が拘束せられて居りましたのに付きましてはそれ相當の罪名の下に當然の處分としての拘束を受けて居つたものと思ふのでございます、私に於きまして只今當時の事情を承知して居りませぬのでございますから冒頭申上げます通り是は調査をして御答することが宜いやうに思ひます、左樣御承知を願ひます

事實當時檢擧された人々は唯期限を定めずに留め置かれて、所に依つては所謂檢束の蒸返しと云ふものになり、或は官憲に對して不穩の言辭を弄したと云ふことで二十九日の拘留に處せられると云ふやうな、名目の附け方は色々あつたのであるが、其實際に拘留であるならば正式裁判の申立てをする爲に辯護士が作製して傳達を求めた所が拘留所の看守をして居る巡査或は取調に從事して居る刑事が斯う云ふものは紙屑だ、幾ら出しても駄目だと云ふので破り捨てたと云ふ實例が各所にあるのでありますそれで斯う云ふ不法なる處置をした當事者を其儘其職に置かれる積もりでありますか、それを伺ひたいと思ひます

○秋田政府委員　不法の處置を執りましたかどうかと云ふことは、調査の上でなければ決定致しませぬ。不法の處置を執りました者がありました場合に於ては、それ相當の處置を致すことに決して吝なる者ではありませぬ

大變長くなつて濟みませぬがもう少しで濟みます——今迄申上げた事を色々組合せまして、さうして當局の處置の一端を示す最近の實例が茲にあります。之を申上げて將來の處分に關する御參考に供したいと思ひます　それは京都府下福知山に於て「昭和魁新聞」と云ふ新聞を經營して居る社長であります。是は政治上は無産勞農黨の主張に共鳴致しまして、曾て其黨員でありましたが、さう云ふ關係上からして官憲の横暴を糺彈すると云ふやうなことをのべつやつて居つた關係上、去る十月二十八日福知山警察署へ同行を求められてそれから三十二日間名前の附かない留置處分に遭つてさうして漸く十一月二十八日に出て來た。所で出て來たので、其新聞社長細見文治なる者は警察署長及び高等係を被告としまして不當拘束に關する告訴を福知山裁判所に提起致しました。所が其の事件と併行しまして、其同じ留置所の中へ乞食が一人拘留二十九日を言ひ渡されて留置されたのであるが、福知山警察署は乞食であるからと云ふので、一日に二食でも宜いと云ふので、二食しか食はせない。さうして長い間拘留して居る中に、其者は營養不良で遂に十一月二十三日午後から甚だしく衰弱發熱を起して、さうして中で苦悶を始めた、中に居つた十五六人の人間が其叫聲に惱まされて迚も寢られないと云ふ場合になつても、其留置場の監視巡査は何等の手段も講じない翌二十四日、二十五日、終日悶へ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

苦るしんで居つたが何等の手段も講じない、二十六日には遂に抵抗力が盡きて其監房の中で唯一人末期の水をも飲ます者も無しに悶死したのである。所で其死んでから其始末にあぐんで態々此福知山町の――警察醫があるにも拘らず、町醫者上村と云ふ者を呼んで、さうして監房から出した屍體を死後二時間に於て檢視さして、さうしてそれで行路病者と云ふ名前を附けて町役場に引渡したと云ふ事實がある。之を今の細見氏が目のあたり見て、さうして出て來て直に其事を暴露したのであります。すると今の告訴を受けた――不當拘束處分で告訴を受けた署長が其暴露に對して非常に憤慨して、さうして又もや一度出した此新聞社長を檢束して、それと同時に其新聞社に雇はれて居る印刷工から廣告取から全部を檢束し、尙ほ又其細見社長の家族の者までも檢束して、さうして之が十二月の十七八日の頃でありますが、私は東京へ來て居つたので「一大事發生直ぐ歸つて來い」と言はれたけれども、つい歸ることが出來なかつた。後で聞いて見ますと再び檢束した理由は、留置場の中で見聞した、乞食を干殺した事件を世間の前に暴露したが爲に、其警察署長が非常に憤慨して、さうして其細見文治を檢束して、中で脅迫して言うに、お前の出した不當檢束の告訴を取下げるならばお前達を出してやると云ふ風なことで、此正當の權利主張の告訴をば再度の檢束を以て脅迫をして取下げると云ふ風なことで押し問答をした揚句、此問題はつい有耶無耶に終つたと云ふやうな事件がある。で福知山警察署長今江米次郎、此人は既に民政黨から糺彈されましたあの和歌山事件の國粹會の暴漢を使嗾して、さうしてあの大事件を惹起した元兇なので、其元兇が又もや福知山に行つて斯ふ云ふ事をやつてゐる。斯う云ふ風な跡を見ると云ふと、單に和歌山縣とか京都府とか云ふ地方問題でなしに、內務當局はさう云ふ風な既に一種の前科ある者をも尙ほ今日用ゐて居られると云ふ風に見られるのでありますが、斯樣に考へることは折角の邪推でありませうか、其點に關して所見を承はりたい

〇秋田政府委員　警察監督の上に於て參考となるべき幾多の資料を御提供下さいましたことを山本さんに對して厚く御禮を申上げます要するに警察行政の上に於て幾多改善の餘地ありと云ふことが茲に明に成つたのであります、私之を謹んで承服致すのであります現內閣に於きまして警察行政に付ては十分なる監督上考慮を致すと同時に、部下を〇〇して過ちなからしむることに努力致して居るのでありますけれども尙ほそれを以て十分なりとは決して考へて居りませぬ。警察が國民の怨府になると云ふやうなことでは、此國の政治が滑に運行されるものではないのであります。事は小さい事が大事を産むのでありまして、此點に付ては爲政者たるものは深く留意を致さなければならぬ事柄でございます。現內閣と致しましては此上共一層注意を深く致しまして、山本さんの御質問の御趣意に適ひますやうに今後努力致します大體に於て此心掛を持つて居るものであると云ふことだけな御諒解下さるやうに願ひます

繰返し申上げる例が聽く皆樣に非常に不愉快な感を與へやうかと云ふことを私は想像する者であります。不愉快なる實例を申上げて諸君に困惑を與へやうと云ふ意味ではない。さう云ふ事實が存在して居るならば、さう云ふ事實の今後起らないやうに御互に致したいと云ふ意味で申上げるのであります。尙もう一つ更に重大なる問題に關して當局の御注意を喚起したいと思ふのであります。それは彼の共產黨事件に連坐致しまして、所々の警察署に於て取調を受けた被告或は被疑者の受けた待遇であります。是は地方的には私が今具體的に持つて居ります實例は、福岡縣、或は大阪府、兵庫縣、京都府、或は北海道函館、札幌或は東京と言ふ風な所で、殆ど全國に亘て居る例でありますが、無責任な論理でないと言ふ證據に二、三の例を申します、函館に於きまして被告になりました福澤正雄と言ふ人間は、函館警察署に於きまして混凝土建の洗面所か浴室のやうな處に、冬の寒空に眞裸で四つ這にさせられて、さうして取調に從事した刑事はお前は勞働者だから北海道の勞働運動をするんだと言ふので、四つ這にならせて、竹刀で毆つて、其混凝土の上を這廻らせた、さうして「もう」と言へと言うて「もう」と言はせ、或は其床を舐めろと言つて床を舐めさせたそれで三四十回も詰り昏迷に陷る迄竹刀で哀なる青年の尻を叩いて走り廻らせたと言ふ例が函館の裁判で現はれて參りました。それから靜秀雄と言ふ被告は、是は又竹刀で繰返し毆られて、さうして自分は既に悶絶した、不圖、眼が覺めたら枕許に茶碗に線香が立てゝあつた。卽ち攻め殺したものと思うた人間が、流石に死んだ者の怨みが怖いか冥福を弔ふ爲に、其死體と見られた者の枕邊に線香を立てゝ置いた。斯う言ふ風な實例は多くあります。用ひられた道具は例へば鉛筆を指の間に挾み、或は此三角型の柱の上に坐らせて、さうして其膝の上に石を置く、或は足を縛つて、逆さまに天井からぶら下げて、顏に血液が逆流して、さうして悶絶する迄打つちやらかして置く、或は頭に座布團を縛り附けて、竹刀で毆る。或は胸に手を當てゝ肋骨の上を擦つて昏迷に陷れる。或ひは又生爪を剝がして苦痛を與へる。と言ふやうな實例が到る處にある。福岡に於て或は大阪に於きまして、或は北海道に於て、被告が口を揃へて言うたことが偶然暗合して居る。どう暗合して居るかと言ふと、取調の任に當つた人間は何時も顏見知の高等係ではなくして、泥棒や掏摸を相手にして居る司法係や治安係といふ腕節の強い人間が其處へ來て言うやうには、此取調に當つてお前方三人四人殺した所で上司は受けて呉れる。昭和の甘粕たから、うんとやるといふやうなことを言うてやつた、是が偶然の暗合であるならば甚た奇妙なことでありますが、若しさういふ風な事例が全國的に出たとするならば是は由々敷大事でありまして、政府それ自身が行政警察規則の第何條でありますか。懇切丁寧にすべしといふことを自ら蹂躪して居るといふやうなことで、此事實を聞いた辯護人は政府が斯の如き非合理的なる犯罪搜查の方法を今尙ほ用ゐるな

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

らは、政府それ自身が此事件に關する公訴權を放棄したものと見ることが出來る、故に無罪であるとまでに論告をした程の實例があつたのであります。之に關して私の話に關する當局の御所見は如何であるか

秋田政府委員　私は先刻我國の警察行政の上に於て尙ほ改善すべき餘地のあることを認め又之が改善の爲に益々努力を致しつゝあるのでありますが、今後尙一層之に注意努力を致さなければならぬと云ふことを申上げた。警官に對して國民が一つの不平を持ち不快を持ち、延いて警察に恨みを持つと云ふやうな事は、此國の政治が滑に運行せらるゝものでないと考へまするが故に、十分の注意を致しますと云ふことを申上げたのであります。現內務大臣が就任の當時地方長官と會同致しまして是等の點に付きましても十分の注意を加へた事實があるのでございます。所の如き各府縣に於ける偶々の小さい警察の非違とか或は不當とか云ふことに付ても、內務大臣は絕えず心配を致して居りまして之を改めて所謂善政をやらなければならぬ。善政と云ふのは必しも大局高處にのみ着眼すべきものではなくして吾々の眼前に幾多橫はつて居り吾々の足許に幾多橫はつて居ると思ふ。此點に付て深く注意をして改善の實を擧げなければならぬと云ふことを訓示致したのであります、此意味は先程來山本君の御指摘になりましたやうな事柄に付て、世間から假令誤解であつても何であつても色々の事を言はるゝやうなことがないやうにせよと云ふ意味なのであります。今後とも十分に注意を致すのであります。併ながら只今最後に山本代議士が御指摘になりましたやうな事柄、あのやうな事實が我が日本の警察行政の範圍內に於てあるかどうかと云ふことに付ては斷じて之れ無しと申上げて宜しからうと思つて居る。明治、大正、昭和を通じまして、此聖代に於て想像するだに戰慄を覺ゆるやうな事態が果してあるでございませうか、如何でございませうか、私は、明治大帝以來歷代大御心が國民の上に極めて優渥である、又責任ある政府者は其大御心を體して益々匪躬の節を盡して居りまして、部下、下僚の末に到りまする迄も是等の點に付ては相當の注意と努力を致して居る筈であります。何れの時に於て何れの場所に於て只今御指摘のやうな事實が行はれたでございませうか、私は最近の事例として只今御指摘になつた而も斯樣な事實は到る所に全國を通じて澤山にあるのであると云ふやうな御話を承つて餘りに誇大に失する御話ではありますまいかと云ふやうな氣持が致しまするのです。若し果して事實に於て左樣なる事がございましたならば、所謂拷問と申しまするか、何と申しまするか、言葉にも筆にも盡されないやうな、洵に戰慄を覺えるやうな事態でございまするので之が其儘に打捨置く如きことは相成らぬと云ふことは申すまでもないことであります。政府と致しましては無論相當の處置を執らなければならぬのでありまするが、私は左樣な事態のあると云ふことを信ずることが出來ませぬのであります。山本さんの御言葉は院內に於ける御言葉が院外に於て責任無しとする憲法の保障の下に無責任に此議場で以て御話になる譯であるやうには私は決して思ひませぬ。でありますから責任の有る山本さんのことでありますからして、十分の御調査を遂げられて其院外たると院內たるとを問はず申されたことに對しては、責任を持たれると云ふ御覺悟でおありであらうとは深く拜察を致すのでありまするけれども、如何にしても私に於ては、左樣な事態が、隨時隨所に於て我國內に於て行はれたりとの御話には、斷じて承服することが出來ませぬ。私は左樣な事實のあつたと云ふことを信じませぬ。隨て之を基礎として政府が如何なる態度を執るか、それに對して政府は如何なる考を持つて居るかと云ふ御尋に對して御答を申上ぐるの必要を感じませぬ、左樣御承知を願ひます

最後の點は非常に重大なる點でありまして、此處で私が名を擧げて申しまする以上、十分なる責任を持つて申上げたいといふことを斷言致します。それで名前を擧げない、所を擧げないと云ふやうなことに關しては、是は十分の考慮を拂つて居りまするので、只今の御尋ねに對して、私は斯う云ふことは言ひたくはないのでありまするが、當局の極めて重職に居られる方で、其方の親戚の中に、政治的所見を異にした爲に榮譽ある貴族の籍を捨て、其所信に忠實なる[illegible]り、[illegible]したやうな勇敢の爲めに遁つた人もある、さう云ふやうなことは一々言ひたくないから、言はないだけのことでありまして、まるつきり無い・是が全部虛構の事實であると言はれるならば、私は此事實を此委員會に於て許す限り御答申したいと思ふ。現に各所に於ける共產黨裁判は、何處に於ても其取調の處置の當を得なかつたといふのは、被告が其事實は係官の名を擧げて申立てゝ居るのを辯護人は聞いて居る。札幌に於ける裁判の如き、私は當日傍聽しましたが、或る婦人の被告は其取調の最中に於て其被告の十五になる娘が、母親の見て居る前に於て言語に絕したる辱を此取調の官吏から受けてそれを見て腸を斷つ思をした。或は又其女被告の鮮血に染まれる衣服の一點が殘つて居つたがそれが何處ともなく消えて行つて證據が湮滅されたといふやうなことで、其話を聞いて居る裁判官、それ等の方々も面を反けたといふやうな例すらある。私は決して嘘言を申立てゝ居るのではない。若し今の政府が種々なる政治を行ふ場合に當つて、斯の如き職務たる犧牲者を其中に生ぜしめねばならぬといふ點なこそであれは、其政府の方針は非常に反社會的のものであるといふことを吾々は言はなければならぬ。其意味に於て私の申上げることは、當局の感情に對し、或は常識に對して、非常な「ショック」を與へるものであらうと思ひまするが、斯ういふ話は是非とも聞いて、さうして必ず反省して戴く所があると思ふのであります、で斯樣に申した所で、一々爭うて斯ういふ風な言質を得てどうしやうといふやうなことまでは私は申しませぬ。只今申上げました實例に關しては全部責任ある事實に基いた陳述である。之に關して當局が如何にせらるゝか、兎に角吾々は飽迄此現代の社會に於ける「九十七パーセント」を占むる所の無產階級の、其無產階級の政治的自由、之を獲得する爲に斯うした、暗澹たる此裏面には、犧牲と、血と、涙と、生命迄が盡して居ると言ふことを申述べて私の質問を打切ります

○秋田政府委員　政府としては只今山本君の述べられました事實のあると云ふことを斷じて認めることは出來ませぬ、隨て存在せざる事實を前提として之に對して所見を述ぶる必要はありませぬ。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

沒落過程にある蔣介石

島津允義

支那國民政府は、政治分會廢止により省政府主席の任免權を掌握し、その領域に於て、兎も角、行政的統一を實現した。その上、一月の編遣會議に於て、その軍事的統一案、——軍隊の中央統轄案を採用した。これ等こそは形式的統一實現後の支那ブルヂョアジーの要望を實行した蔣介石一味の大功勞なのだ。支那の勞働者農民の革命運動に報ゆるに狂暴極まる白色テラーを以てした大功勞と並稱される程の。

蔣介石一味が、上海を中心とする支那ブルヂョアジーと、投資によつて一躍諸帝國主義國の最前外に乘出さうとする米國帝國主義との支持を受け、—手先となつて、—支那に號令してゐる時、英國に聲援されてゐる廣西派は刻々にその足場を失ひ初め、日本に色目を使つてゐる馮玉祥も山東進出を阻まれてしまつた。

支那の心臟たる上海から抑まれた動脈武漢は萎縮の外に道はなく、政治的統一と軍隊の中央統轄に對する反抗も、徒らに支那ブルヂョアジーの御機嫌を損ねたばかりで、遂に廣西派は潰滅した。今や蔣介石は、この機に乘じて、馮玉祥に刄をかざして支那の統一、——反動的な統一にまで進軍しようとしてゐる。廣西派に勝つたのは、上海を中心とする支那ブルヂョアジーの金力による。一兵に血をぬらなかつたが、莫大な黄金が裏切將軍共の懷中にねぢ込まれた事に御目をとめられたい。一月の編遣會議は一面に裁兵會議、軍縮會議だ。他軍閥の兵力を削減すると共に、多少は自己の兵員も減少せしめねばならぬ。裁兵問題の進展如何・成績如何は、支那ブルジョアジーの生死を[illegible]する結果を招來せしめる。蔣介石は、廣西派潰滅により增大した自己の軍隊を裁削せねばならぬが、裁兵の困難は、支那の土地饑饉による歸農政策の實行不可能、工業勞働者の需要絶無、等々によりあまりにも明白である故に、彼は、此際、この兵士を馮玉祥討伐に差しむけて當面の急を凌がんとしてゐる。

併し、彼が、馮玉祥を邊境遠く擊退すれば、却つて、自己の內部に付屬する矛盾は增大して自己の沒落を早めることになる。蔣介石の責任の下に、全國的規模に於る裁兵を實行しなければならぬから米國から借金して、大鐵道敷設を計劃しつゝあるやに傳へられても居るが、そんな事では尨大な兵員の除隊後の生活を保證する事は出來ない。裁兵しなければ、支那ブルヂョアジーは軍隊維持の出費に堪へられぬ。この矛盾を認識した軍隊は今や頽廢の一路を突進してゐる。「土匪から軍隊へ」「軍隊から土匪へ」の流通作用が在來常に行はれ來つたが、現在では後者の即ち「軍隊から土匪へ」の形式あるのみだ。そして、支那ブルヂョアジー、外國帝國主義、軍閥と結托せる地方的ブルジョアジー、土匪、等々の搾取の對象は、全人口の八十パーセントを占める農村大衆である。兵亂毎に增大する土匪と軍隊の頽廢、更に想像に絶する流民の增加は、正しく蔣介石——支那ブルジョアジー××のために用意された強烈な火藥だ。況んや支那ブルジョアジーの運命をも決すべき裁兵の時期が刻々に切迫してきたのだ。

支那ブルヂョアジーは、かゝる時期に於て外國帝國主義と提携した。濟南協定の成立、漢口南京事件の解決、等には日本ブルヂョアジーとの密約を深くひそめてゐるのが看取される。

それなら、支那の勞働者農民は何をしてゐるか。狂暴無慘な白色テラーの前に、大衆的××に直面して、彼等は新しい運動を開始してゐる。去年の第三インターナショナル第六回大會で過去に於ける誤謬、不徹底を遺憾なく淸算した中國××××は深い非合法の下にも屈せず、大衆の先頭に立つて××戰線の展開と勝利を策してゐる。廣東、湖北、湖南、等々の地方では農民協會、——農民組合——を據點として、勞働者、農民、兵士の代表委員會を構成し、プロレタリア、ヘゲモニーの下に××大衆の動員準備に着手してゐる。

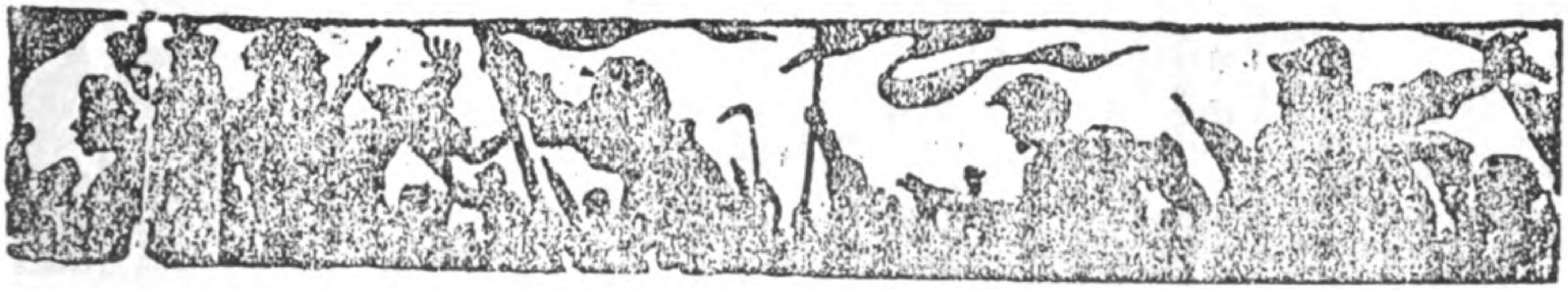
多數の優良な指導分子を、白色テラーのために奪はれ乍ら、常に活潑に大衆の中に活動を續け、これをして革命の生きた原動力となし得るのは、中國××××のみが眞に支那の勞働者農民の現實的利害と階級的目的に忠實であり、そのためには一切の勢力を拂げて惜しまぬプロレタリヤの英雄的行爲の故である。

上海其他の開港場では、帝國主義と握手した支那ブルヂョアジーの番犬どもは、××をふりかざして××運動の尖端分子を彈壓し、大連に於ては××の法院は、支那共產黨員に十年、八年の禁錮を云ひ渡した。「打倒帝國主義」のスローガンを物はづかしげに、そつと下ろした國民政府への反抗を充分に意識せしめつゝ、反日會は黨指導の下に、國民黨左翼分子が今なほ各地で大衆を實踐を通じて××的大衆にまで教育しつゝある。

譚平山等を中心に、勞働者農民黨なる左翼民主々義的政黨が生れて來たが、またそれが隨分と強力なものゝ樣にデマゴーキが飛はされては居るが、要するに問題でない。××的大衆は彼等を後にのこして前進する。

三月十五日に御手盛の自派代議員をして國民政府—蔣介石信任を高唱せしめ、更に廣西派を買收と宣傳とで破り、これを機として馮玉祥を打倒せんとしてゐる蔣介石の一味は、地下に潮のうなるが如き、勞働者農民の呪咀の聲と、勞働者農民兵士の××的結合が、彼等一味の背後に、ひたひたと押寄せてゐるのを知らないのか。反動蔣介石の運命は、今や絶頂迄登りつめ樣としてゐる。後は一落千丈の斷崖が彼を待つてゐるばかりた

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN



資料

全國勞農青年同盟東京府支部鬪爭方針書（草案）

一、日本帝國主義と青年勞働者の地位

一、日本帝國主義の現狀勢　日本帝國主義の現狀勢は次の如く特徴づけられてゐる。勞働者農民の生活の極度の窮乏による國内市場の狹少化と階級鬪爭の激化、帝國主義列強との資源、市場の爭奪戰の尖銳化及朝鮮支那に於ける被抑壓民族の反抗の增大と勞農ロシアの發展強化による日本帝國主義の脅威、此の二つの戰爭の危機。

かくして日本帝國主義の發展方面は、著しく不確實を招き、安定化は絕へず動搖しブルヂョア權力は、尖銳化せるプロレタリア運動の前に、白色テロルの嵐と化してゐる。

此の難關を突破せんとする日本帝國主義は帝國主義戰爭準備と產業合理化にその全努力を集中し、これが強行のためにその銳鋒はプロレタリア運動の彈壓に向けられてゐる。それにも關はらず列強帝國主義は支那革命の壓殺のためには共同の行動を確保せんとしソヴェット聯邦攻擊のために列強の同盟を形成しつゝある。

十七億の軍事豫算、全產業の軍事的動員の準備、支那出兵、日英米の建艦競爭、最近傳へられる日英親密のプログラム、反動主義者や平和主義者の饒舌の種となつた「人民の名に於いて」ブルヂョア教育機關に於ける反動化、青年訓練所、在鄕軍人會、消防隊、青年團の軍國主義的動員、戰鬪的三團體の解散、社會民主々義者の意識的裏切等は戰爭切迫の事實を證左する端的な表現である。

世界大戰に於いて漁夫の利を占めた日本帝國主義は逸早く戰後の世界恐慌に襲はれ、強力なる反動政策によつて漸く混亂を脫するに到り、所謂安定期に入つた。

かくて產業の合理化は大經營に於ける大規的馘首、中小經營の沒落によつて產業豫備軍を擴大し、賃銀値下、時間延長等勞働條件を飢餓の水準にまで叩き下げ、勞働者の生活を惡化せしめ、階級鬪爭を××せしめてゐる。更にこの產業の合理化は戰爭準備の有力な一條件として遂行され、重要なる產業部門に實施されてゐる。

二、青年勞働者の地位　此の資本主義的產業合理化と帝國主義戰爭の危機の切迫とは生產過程に於ける青年勞働者の役割を愈々重大ならしめる

注意深き搾取は若き勞働者の上に增大し、その經濟的地位は益々劣惡化してゆく。而してまた成年勞働者に對する青年勞働者の比率は高められ、凡ゆる產業部門に於ける青年勞働者の演ずる役割は擴大された。

斯くて產業の合理化は勞働條件の一層の惡化を結果し、青年勞働者の搾取の犧牲を激化することを意味する。更に產業の合理化の嵐の中に於いて最も有力なる搾取の一手段たる徒弟制度は發育盛りの青年勞働者の慘酷な犧牲の上に強いられ、年期後は街頭に投出されるか、低劣なる條件の下に搾取を續けられるかである

戰爭の準備に於いては軍國工場其他重要部門に於ける青年勞働者の經濟的地位を劣惡化せしめる外、更に××による××勤務。青年訓練所、在鄕軍人會への強制加入、官製青年團、消防隊等の軍事的動員によつて強制的組織的に犧牲を加重せしめてゐる。そして青年勞働者の不平不滿を押さへこれを反動へ轉化せしめるために行はれる××主義排外主義の思想的宣傳は厖大なる出版物の中にキネマに、ブルヂョア的集會に、ブルヂョア新聞に謳歌され、斯くて青年勞働者の一切の層は未だ帝國主義ブルヂョアジー側に獲得されてゐる。

斯る日本帝國主義の狀勢の中に、わがプロレタリア運動は白色テロの嵐と戰つてゐる。戰鬪的組織の破壞打續く彈壓、逮捕の中に鬪爭は尖銳化し、組織は地下を進み、青年勞働大衆も亦、漸くにして強力に鬪爭し得る戰鬪的プロレタリア青年組織への要求を持ち始めた。

最近たかまりつゝあるストライキの波と青年勞働者の活潑なる動き、學生のプロレタリア運動への參加、××に於ける兵卒の××、社會民主々義者の裏切と其の指導下の大衆の（特に青年大衆の）根強き反抗の現はれ等はみな黨の強化擴大と××化を雄辯に物語るものである。

茲に亦、プロレタリア運動内に於ける動搖がある。即ち、大右翼結成アジア勞働會議の提唱とそのブルヂョア的成功のために夜も日も明けぬ右翼社會民主々義者と「合法主義」の實踐に於ける左翼社會民主々義者の意識的計畫的裏切と。たが、之は

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

進め

僚等社會民主々義幹部の勞働大衆よりの孤立化を招來する他の何物でもない。

二、わが同盟及東京府支部の役割

三、各青年同盟批判　我國に於ける以上の如き狀勢は、戰闘的プロレタリア青年組織の客觀的條件が成熟し動きつゝあることを示してゐる。プロレタリア青年運動の任務はプロレタリア青年の政治的經濟的利害を代表して、ブルヂョア權力と搾取に對抗し、勞働青年を指導勢力とする貧農の青年大衆をも動員し、闘爭に參加せしめ、之を階級的に訓練し、敎育して、プロレタリア運動の一翼として組織するところにある。

・

曾て果敢なる闘爭を展開し、我がプロレタリア運動に輝ける歴史を有する全日本無産青年同盟は大衆動員の必須的條件たる青年勞働者の經濟的要求を充分に戰はなかつたし亦戰ひ得なかつた。其れは青年の特殊的な政治的觀點に基づいての組織であつて、爲に青年勞働者の經濟的要求と密着することが出來ず、從つて大衆化の成功を充分に納め得なかつたのである。

　更に右翼社會民主々義者に統卒されたる社會青年同盟は如何。官僚幹部に對する反抗は鬱結してゐるとは云へ、未だ公然たる闘爭は行はれず、組織それ自體は何等獨立的なものでなく、又、青年獨自の闘爭も行ひ得ない。亦そのことは官僚幹部の利用する範圍に止まるところにより戰闘的プロレタリア青年組織に對立するものである。

　わが勞農青年同盟は如何。

　それは左右社會民主主義者と其團體の青年卒化よりなる。成程其組織は工場と農村に重點を置き青年勞働者及貧農青年の經濟的要求を政治的に結合して、青年獨自の闘爭を展開し得るし（たが社會民主々義的に）大衆動員の條件を具備してゐる。が亦多分に反動性をも併有してゐる。即ち、また社會民主々義者の指導と影響から充分に脱却しておらず、故に社會民主々義的青年同盟として固定化し、戰闘的プロレタリア青年組織に鋭く對立し其強化擴大を妨げる危險、これである。

四、わが同盟及東京府支部の役割

我勞農青年同盟が眞實に階級的目的を進むためには如何なる事が必要か斷然たる質的轉化への努力と闘爭とそして社民民主々義的指導と影響からの理論上及組織上の完全なる獨立これである。

　それは戰闘的プロレタリア青年組織への進出であり、その大衆化への協力であり、實にわが同盟の英雄的行動による解消過程を意味する。

×　×

　然らばわが同盟に於いて最大のプロレタリア青年を有し、同盟の中心勢力たる我が東京府支部は此のために如何なる闘爭役割を演ずべきか。

　まづ政治的組織的敎育的、凡ての活動を社會民主々義的精神から切離し之を獨立せしむる。既に我等は政治的活動に於いて、組合的の活動に於いてそれを始めてゐる。斷然たる決意は我等に細心なる注意と大膽なる行動を體驗せしめ、戰闘的プロレタリア青年運動へ參加せしめつゝある。

　我等は勿論精選された闘士のみを以て結集する前衛主義の夢を見てゐるのではない。それは階級×に指導され階級的原則の上に凡ての方針を打建て、それの大衆化に組織上の重心をおくプロレタリア青年同盟を支持し、その強大化のために協同せんとするものである。

　我等は斷じて「合法的青年同盟」「無産階級の合法的尖端」の名に於いて社會民主々義者につながれた犬ではない。

三、當面の闘爭

五、反軍國主義の闘爭　反軍國主義の闘爭は帝國主義戰爭の危機が切迫しつゝある今日、我等の主要闘爭となるものであつて、最も精力的に戰はねばならぬ。

　先づ我等は凡ゆる機會に於いて帝國主義戰爭の危機の切迫を大衆に宣傳し、戰爭準備に基因して青年勞働者の双肩に加重される凡ての負擔、即ち、搾取の増大、賃銀低下、時間延長、經濟的地位の惡化、それから點呼、演習及強制的軍事的動員、一切の反動的軍國主義宣傳に對して、青年勞働者の日常的利害のために戰ひ、廣く青年大衆を日常闘爭に動員して、これを帝國主義戰爭反對の闘爭に結付け、次のスローガンによつて戰はしめる

1　帝國主義戰爭反對、戰爭準備反對
2　反動的軍事豫算反對
3　對支絶對非干渉
4　ソヴエットロシヤ×××
5　殖民地の解放
5　反動團體の撲滅、平和主義反對
7　勞働者農民の××

次に反軍國主義闘爭の一般的スローガンを掲げる。此のスローガンは時々刻々の闘爭に於いてその問題の性質に應じ、中心的スローガンと結合して採用されねばならぬ。

1　一年志願兵制の廢止、兵役一年短縮
2　入營による解雇反對、除隊兵の卽時復職
3　兵營内に於ける兵卒の人格權の確認
4　兵士の給料値上、住所食事服裝の改善
5　兵士の言論、集會、出版、結社の自由
6．兵卒及水兵の外出、上陸、閲讀通信、面會の自由

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

あ　週

7　××會議の撤廢
8　××の公選
9　戰死傷病及徴兵による家族の生活窮乏に對する國庫扶養の實施
10　軍國主義的軍事教育、民衆の軍國主義化政策絶對反對
11　青年訓練所、在鄕軍人會の廢止
プロレタリヤ××教育團體の設立
12　即時、徴兵適令者會、入營者支持會を作れ
13　××、××、軍事工場內に××と××を強める

整し反軍國主義の鬪爭を強力に展開し、大衆化するためには、何よりも先づ軍事關係の諸工場（殆ど凡ゆる工場は軍事關係にある）反帝國主義的重要部門に組織され、動員されねばならぬ。

亦××內と××にまで我等の鬪爭と組織の力が及ばねばならぬことは申すまでもない。何故なら、反軍國主義の鬪爭は帝國主義の軍事的諸組織の內部から激發され、鬪爭されてこそ始めて眞實の力を持つ。

更に我等は青年訓練所、在鄕軍人會、青年團を內部から××し、內外の鬪爭に併せてこれを廢止へと導くべきである。此の鬪爭はまたプロレタリアの××教育團體の建設へと向ふ可きである。

工場、青年訓練所からの徴兵適令者にはその支持會を、入營者にはその支持會を持ち、入營による家族の窮乏化、兵營內に於ける××極まる給料の增額、給料の××せる要求、等を現實的に××し、入營後に於ける兵卒としての要求の數々、及それの××の方針等を與へねばならぬ。

亦、鬪爭の手段として、兵役短縮デー、反軍國主義週間、ブルヂョア戰爭××日反對示威運動、入營者の送別及除隊者の歡迎に於ける示威運動、集會等々は有効且具體的鬪爭となり得る。

戰爭準備に於ける帝國主義の有力な二つの機關、反動主義と平和主義は、徹底的にたゝきつぶさねばならぬ。

斯くて新戰爭の準備に對する鬪爭は、廣汎なる大衆動員の條件を具備してのみ、強力となり大衆獲得の問題は緊切となる。

帝國主義戰爭の危機と戰へ、勞働者農民の××、スローガンは汎く青年大衆の叫ぶ所とならねばならぬ。

五、經濟鬪爭並に組合內の活動　大衆獲得のために必要なる此の分野の鬪爭は現在產業合理化によつて動搖しつゝある、青年勞働者を、資本主義的產業合理化反對に向け、賃銀値下、馘首、時間延長に對する不平不滿を組織し、精力的に鬪爭せしめなければならぬ、同一勞働に對する同一賃銀の支給、十九歲以上の七時間勞働制、十九歲以下十五歲までの六時間制、十四歲以下の勞働禁止、十八歲以下の夜業、危險作業、坑內作業の禁止、青少年勞働者への技術教授と其設備の無料設置等は當面の切要なスローガンである。まづ我等は青年勞働者の獨自の鬪爭を有力に展開するためには、最近特に重要性を帶び來つた組合青年部の問題を取上げねばならぬ。プロレタリア×が合法的に存在し得ない段階に於ては、勞働組合の青年分派の組織は（組合青年部）階級鬪爭の有力なる一手段となる。

先づ我等の直接關係を有する中間派諸組合の青年部を見よう。然しそれは名目丈の青年部で、青年の獨立的要求に從ふ自主的機能を持つた青年分派ではない。

かつて組合同盟に存在した青年前衛隊は（所謂）組合運動を活潑にするための一組織であつて、青年勞働者の特殊な經濟的政治的要求のために戰ひ得る組織ではなかつた。然らば、青年勞働者の特殊的要求のために鬪爭する自主的組織としての組合青年部は如何にして確立されるか。

「組合に行け！」といふスローガンを直に實踐に移すべきである。

そして我等の手初めとすべき中間派諸組合に於ける青年部の確立と青年部內での活動は亦、反動的幹部と組合主義に對する鬪爭にもなるし、亦しなければならぬ。

このために我々は絶えず下からの鬪爭に對する必要に迫られてゐる。

共同鬪爭の重要性は云ふまでもないが、其方法としては職場に於ける共同鬪爭を執拗果敢に戰ひ續けることが最重要であるが、更に、產業別地域別の青年勞働者會議を形成して戰鬪的プログラムによる組合戰線統一のためにも戰ふべきである。

共同鬪爭の場合に於て注意すべきことは、左翼勢力との具體的協力なき場合は、何等鬪爭の階級的効果を舉げ得ないばかりか、甚だしき危險さへも伴ふものであることを記憶せねばならぬ。

我等の組合青年部に關するスローガンは左の如くであらねばならぬ。

一、工場を基礎に組合青年部組合婦人部を擴大せよ
一、青年男女勞働者の同一勞働に同一賃銀を支拂へ
一、青年男女勞働者の最低賃銀制を實施せよ
一、青年男女勞働者の組合加入の自由組合內部に於ける同權を與へよ
一、新帝國主義戰爭準備の強制殘業勞働時間延長賃銀値下絶對反對

七、教育鬪爭　多かれ少かれ社會民主々義の制約を未だ脫し切れない我々は、レーニン主義の教育的活動を獨立的に遂行する事に甚だ困難である事を覺悟しなければならない。

それに拘らず、レーニン主義の教育は最も精力的に鬪爭されねばならぬ。教育的活動は日常の現實的鬪爭と

進め

組織に結合して行はれねばならず、戦闘的プロレタリア青年組織に適する教育方法によるべきである。而して現實の闘爭から生み出された生々しい事實と結合して、レーニン主義を大衆に浸み亘らせるためには當面

1 反軍國主義の重要性その闘爭の擴大のため大衆獲得の主要條件たる

2 組合内に於ける活動の必要。及びこれ等の闘爭が當面する最初の最大の障害、即ち、

3 政治的自由獲得のために戦闘的プログラムによる統一戦線の形成、そして

4 プロレタリア青年の××的組織の重要性を、充分に組織的計畫的方法によつて教育されねばならぬ

宣傳と煽動は、亦凡ゆる機會を作つてなすべきである。プロレタリアの記念日を利用しての茶話會及示威運動、プロレタリア劇、音樂會、キネマ、それからプロレタリアスポーツ、ピクニック等。

我等はこれらの有効なる方面に於けるプロ、アデに逸早く習熟しなければならない。勿論プロ、アヂは、各産業部門に於ける青年の特殊的地位及その生活的條件等に基き亦大衆の意識水準を充分に考慮し、其等に相應した方法手段によつて、現實的に生きた教育をなすべきである。

戦闘的プロレタリヤ青年組織の必要と、其政策を青年大衆の間に宣傳し、是を欲求にまで導くことは、出版物の配布、研究會等による。

我等はこのために工場班毎に研究グループを持つ、更に工場或は地區別に高度の研究グループを組織し、オルガナイザーアジテーターを自らの努力によつて作り上げて行く。

斯くて當面我等の教育的活動は、我が同盟の質的現實的轉化、の上に日常の經濟的闘爭即ち、中間派組合に於ける反對派的活動と相並んで緊急重大な任務である。

八、政治的自由獲得の闘爭　我等の行動のあるところまたブルヂョア權力の抑壓がある。而も、我等青年に加へられたる選擧權被選擧權の剝奪、言論、結社、集會、出版の自由の完全なる剝奪——政治的自由獲得の闘爭は凡ゆる場合に於て統一戦線の結成を可能にし、亦、大衆の左翼化を具體化する。汎く青年大衆に對し、プロレタリヤ青年組織の存在を宣傳し、それに對する參加の欲求を起さしめる。此の闘爭の必要は云ふまでもないし、プロレタリヤ青年を政治運動に參加せしめる最良の手段だ。

九、學生間の活動　帝國主義ブルヂヨアが、全力を擧げて國家教育機關の反動化に至れりつくせりの今日、時に必要である。

我等はこれを學校の反動的教育、支配に闘爭せしめ、學生々徒を政治的自由獲得闘爭に動員せねばならぬ

亦我等は極力學生生徒のプロレタリア運動への參加を支援すべきだ。

十、組織闘爭　組織活動の重心を重要産業の職場（軍事産業、金屬、電氣、化學、交通、運輸、鑛山）に置くべきは云ふまでもない。

工場は青年勞働者が生産の場所に於て集合的に働き、集團的、組織的生活に訓練されるところであり、又資本と勞働が鋭角的に對立するところであり、日常闘爭の發火點である。

工場の組織、工場の動員こそがプロレタリア青年運動の基礎である。

現在わが同盟は地域的な組織を重心點としてゐるが、これは工場班の確立を妨げ班活動の能動性を失はしめ、プロレタリア青年と小ブルヂヨア青年を地域的にゴッチャに集めて組織し易く、青年勞働者の日常闘爭と訓練に離れた緩慢ならざるを得ない。そしてまた全組織内に於けるプロレタリヤ階級の特權の確保を解消せしめる。

その事は現在本部構成に現れたメンバーを一見すればすぐ判る。明かに社會民主主義的な組織形態であつて少しも早く改革されねばならぬ。

我等が當面の組織的活動は中間派諸組合の組合青年部を確立し、青年大衆の闘爭的エネルギーを最大限度に發揚せしめて社會民主々義の限界を突破せしめることである。

今日の反動勢力は亦必然に×合法的活動の方法を我々に學はしめる。

重要産業の職場には×人×人の××的グループが××的に活動し、既に表面に名乘つて活動してゐる工場班と×××に於て結合してゐる。

我等の組織的活動も亦斷じて、わが同盟の固定化、安定化であつてはならない。

それは必然に戦闘的プロレタリヤ青年組織への（同盟内の戦闘的勢力の強大化は亦同時に同盟の解消過程である。）進展とならねばならぬ。

四、結論

日本帝國主義の客觀的状勢は××的プロレタリヤ組織の大衆化の必要性と可能性とを事實上物語る。

我等は現實の闘爭の中に自らの質的轉向を敢行し、左右社會民主主義との完全なる絶縁とその殘滓の清算その闘爭を通じての××的プロレタリア青年運動の強化、大衆化に邁進せねばならぬ。

帝國主義戦爭の危機と戦へ

同一勞働に同一賃銀を掴へ

青年訓練所、在鄕軍人會を廢止せよ

左翼社會民主主義と戦へ

言論集會出版結社の自由を與へよ

プロレタリヤ青年同盟を守れ

プロレタリヤ自衛團を組織して白色テロルを粉碎せよ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國無産黨の出現と勞農派の孤立

清黨運動の功罪

下村靜夫

一

先に清黨運動同盟によつて、其の反階級的正體を完全に大衆の前にサラケ出された平野日本大衆黨書記長は、河野田所等の一族郎黨を引き連れて、愈々豫定の筋書き通り愛國勞農黨とか稱する反動政黨樹立の策謀を具體化した。

話ははつきり早く極めて了ふがよい。平野力三君ともあらうものが、金には緣を切れさせた日本大衆黨に何時までも止まつてゐる譯はない。清黨運動以來、本部へは顏を出さず、うろつき廻つていよいよ目星がついたといふ段取りになつたらしい。

平野、麻生、河野等の一連の愛國主義者が去つて了へば、差しづめ舊無産大衆黨が本部乘取りを策し日本大衆黨の階級性は確保されたと聲高く叫ぶであらう。われわれ清黨同盟も、ダラ幹排撃の所期の目的を達し、日本大衆黨の階級性を守り得た事を喜ぶであらうか

否々、わが清黨同盟は、日本大衆黨の本質をはつきり知つてゐる。同時に、平野、麻生等の脱退後に於ける日本大衆黨の主權者、勞農派—舊無産大衆黨派の本質もはつきり知つてゐる。われわれは以下述べる樣な理由によつて、斷乎として日本大衆黨と勞農派を粉碎し無産階級の眞實の敵と味方を全無産大衆の前にバクロするであらう

われわれは、清黨同盟創立當初において、日本大衆黨階級性擁護、——のスローガンを揭げて日本大衆黨を守る事を聲明してゐた。然るに、清黨運動の鬪爭過程において、社會民主主義的埒内より完全に飛躍した。日本大衆黨階級性擁護などゝいふ社會民主主義より一步も踏み出してゐないスローガンは洵に空虚なものとして響く樣になつた。又、日本大衆黨といふ社會民主主義的形態を死守し樣とする、その盟主たらんとする勞農一派は、畢竟無産階級の眞實の指導者でない事を、はつきり意識する樣になつた。にも、かゝはらず、われわれが、日本大衆黨全國大會の即時開催を要求したのは日本大衆黨の反階級性のバクロと日本大衆黨員の階級的躍進の促進の爲めに利用せんとしたからに外ならない。

わが清黨運動の今後の進出の方向を論ぜんとするに先き立つて、清黨運動の日本無産階級運動に與へた影響の跡を一瞥する。

二

清黨運動は日本社會運動の劃時代的な運動であつた。これによつて、いやが上にも反動化した支配階級の暴壓政治の眞只中において極度なる生活の窮乏に呻吟しつゝ、ある無産階級に、眞實の味方が何であるかといふ事がはつきりして來た。清黨運動は假面が來てゐるものはその假面が荒々しくめくり捨てた。河野、田所の如き右翼面をした者の正體、彼等のほんとうの姿は反動以外の何物でもなかつたのだ。即ち、フアシストの麻生平野と切つても切れぬ腐れ緣の持主である事が、この清黨運動を通じて、紛らそう、欺そうとしても最早欺されない事實となつた。

われわれの運動によつて、日本大衆黨員が、平野、麻生が國粹主義者である事を知るや、こんな人々の指導下にゐる事は御免だ、これは無産階級の解放どころか反對に無産解級を××愛國主義で縛られようとしてゐる事だと、意識して急速に左翼化の道へ高揚して行つた事は、之亦、僞りのない事實であつた。では左翼化した大衆は眞に敵と戰はんとする戰鬪的大衆は、日本大衆黨内の左翼、舊無産大衆黨のグループと一所になり得たか。否、何故ならば舊無産大衆黨系は、この問題を其の「正統左翼」の看板にも不拘、百パーセントに抗爭する事をなし得なかつた百パーセントところか、五十パーセントも戰ひ得なかつた。何故、勞農の一派は戰ひ得なかつたか。

それは、彼等が××××黨に對立する所謂左翼社會民主主義者であり、日本大衆黨といふ社會民主主義ガリガリの政黨を大きくする事により、自らの勢力を增大して、喧嘩した勞農同盟に「それ見ろ」と云つてやりたくて仕方がなかつたのだ。其處で、彼等は日本大衆黨の動搖を極度に恐れる。恐れると云ふより平野や麻生のバクロなどはやりたくなかつたのだ。それは、一月二十日の全國勞農靑年同盟において、長野縣支部より提出した「日本大衆黨幹部の醜聞問題に關して、同盟の名によつて統制委員會に警告を發すべし」とする大衆的緊急動議をボイコットして不成立に終らせた者は誰だつたか日農、日勞系の諸君は云はずもがな、實に勞農派の諸君ではなかつたか。これを見ても勞農派には、戰はんとする意志が毛頭なかつたのだ。陰ではコソコソ惡口を云つても、—それはほんとうに惡口の程度に過ぎなかつた—いざ無慈悲なる鬪爭といふ考へはとても持合せなかつたのだ。然るに、わが清黨同盟が、裏切幹部に對する無慈悲なる鬪爭の火蓋を切るや、あはてふためき乍ら、正統左翼の看板の手前裏切者の追放の爲め立上らなければならなかつた。そして親

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

馬の後から労れて跟ってくる仔馬の様に、ひよろひよろして、わが清党運動の後からついて来た。労農一派は、口では反階級的行為を非難しながら、事実においては社会民主主義勢力――即ち日本大衆党から孤立しない為めに極めて妥協的な態度を取つた。平野のみの攻撃は、労農新聞紙上から盛んにやつてゐるけれども、麻生や河野の排撃は彼等の口から、一口も云はれた事があるか。平野麻生の勝手は完全に成立し、それによつて形成された本部である。一方を攻撃して、一方におとなしく、おべんちやらを云つてゐる様なものだ。仲の良い夫婦があつて、その夫の方に妻の悪口を云ひ、夫を罵つても仲の良い夫婦である限り、その妻の悪口を云ふ男が誰からも憎悪されるのは理の当然である。この理屈がわからないところに労農一派の馬鹿さ加減がある。これも日本大衆党から孤立しない為めの懸命の努力の生んだ錯覚である。然りそれはまさしく労農一派の錯覚であつて、彼等は孤立しない為めの努力が、急速度に孤立する結果となつたのだ。労農一派は遂に党内左翼分子からは、強力に戦ひ得ない日和見主義者として取残され、平野麻生一派等も死物狂ひで労農派を追出して了つた。

浮動する労農派。彼等を孤立せしめたのは彼等の本質に起因する曖昧なる頭脳である限り錯覚などはあり得ない。彼等の孤立せざらんとして孤立にまで導いた錯覚は彼等の階級的本質が然らしむるところである。彼等の本質は、口にレーニン、マルクスを唱へて実践においては××的闘争を拒否する所謂左翼社会民主主義者であるからた。××的に騒ぎたくはあるし、社会民主主義者と仲良くやつて行きたい日和見主義たからた。本質は行動を規定する。労農一派は完全に孤立した。

×

同時にわが清党運動は世界的マルキシズムの旗の下に広大なる大衆を押しやつた。現在迄、日本大衆党内において、――日本労農党時代からの歴史を通じて見て――×××××に対する信任と憤慨の念を全大衆に深めた事は、かつて無かつたであらう。

（この清党運動をとりあげ、利用して、日本大衆党の本質をバクロし、労農一派を粉砕せん事を労農同盟本部に進言した、政獲労農同盟愛知県支部の態度は正しかつたと思ふ）

×××の権威を高め、われわれの政策は只一つであるとの信念を与へた事は、わが清党運動の推おこした、反動幹部の失脚・労農一派の孤立化と共に、大なる階級的功績の一つとして数へられるであらう。

わが清党運動は、運動当初より全土の階級的党員の支持の下に戦つた。東京はもとより、信州、四国、大阪、山陰、九州の各地に渉つて最も戦闘的大衆の支持を受けてゐたのだ。かゝる戦闘的大衆の急速なる左翼化の過程において又平野麻生の本質のはつきりするに従つて、清党運動同盟は次第に解消されて行く、何故なら、清党同盟なる組織は社会民主主義以上の何者でもないからだ。日本大衆党なる対象物の転化と、――即ち語を換へば、平野麻生への対立より労農一派の対立へと高揚するに従つて、清党同盟なる民主主義的な組織は不必要になるからだ、かゝる同盟によつては、到底戦ふ事は出来ないからだ。

日本大衆党の新聞が――「清党同盟では煙の様に消えて了つた」とゴシップを飛ばしてゐるが、相手の変化と共に組織が変化し解消するのは当然である。河野、田所等は完全に粉砕されたのである。されはこそ、彼等は愛国無産党へ、と華々しく一歩前進したではないか。われらは、この反動主義者を飽くまで追窮する事は無論であるが、この一連の正体ははつきりして来たので、殊更にわれわれがバクロしなくても大衆自身がはつきり見抜いてゐる。われわれの最もバクロしなければならぬものは、仮面を着た敵である。××的仮面を着た民主主義者である。かくして、今やわれわれの対立物は、日本×××に対立し、それを否定する労農一派であらねばならぬ。「日本無産階級を売る平野一派の「愛国労農党」をあくまで追窮せよ。左翼社会民主主義の打倒。われらの全努力は急速にかゝる段階にまで到達した。

われらは労農一派に尊敬すべき先輩をもつてゐる。しかし。先輩同志であらうとも、誤れる方向にある限り、断乎として闘争する事こそ、真に無産階級解放の為めに戦ふものである（終り）

（九頁ヨリ続ク）

会、半島ゴム職工親睦会、仲仕労働共済会、済州労働共済会、理髪組合、光州労働共済会、京城洋靴職工組合等の十三個団体でその総会員数は略二万余名に達したのである。その三個条の綱領を示せば即ち

一、略

二、協同の力を以て生活を改善するために此に関する智識の啓発技術の進歩を期図する

三、現社会の階級的意識に依り無産者の一致団結を図る

等であつた。而してその中央執行委員は二十人を選定することに定め、その中の常務員は故白光欽、金容瓚、金商鎧の三君である。斯くの如く新しき組織の下に明確なる綱領を定めたるに依つても前身の共済会との相違点を認めることが出来る。斯の会の目的は地方中心の労働運動により無産階級の解放を期するもので其の機関誌「労働」は数次編輯出願したけれども一度も許可にならず押収の運に遭つた。

且つこの労働聯盟会は前述したるが如く前身が共済会ではあるけれども、共済会が事実上解体したものではなく少数の異る意見の所持者に依つて常時なほ共済会の名目は消えてゐなかつたのである。勿論之は主義思想等の相違を意味するものではなくたゞその運動戦術に就ての方針と、在来の看板を固執したものである。故に世人は之を称して所謂共済会の「両派分立」事件と云ひ、聯盟会成立以後に於てもこの種の対立態度がハへい、ッ引続いた（未完）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

勞働移動のシーズンに跳梁する惡人夫屋を警戒しろ

——自由勞働者諸君に——

加藤利藏

×

例年の如くではあるがそろ〱北海道、樺太から遠くはカムチヤツカ方面へかけて漁撈の繁劇期に向ふと共に、供給過剩に惱む都會の勞働市場で喘へ通しに生活苦に逐はれて來た多くの勞働者達が、一縷の望みを「出稼勞働」に繫ぎ職――食を求めて北へ北へと都會を流れ出すときであり、かうした勞働者の移動季節を蒐き取れ時とする都會の暗黑面に棲喰ふ惡人夫屋やポン引き共は、地方の勞力需要地に棲喰ふ惡請負師や惡周旋屋共と共謀になり、電車の中、公園のベンチの上、或は宿泊所等に出沒して巧妙なる誘惑の網を張り、「監獄部屋」行きの人夫の蒐き集めに狂奔するときである。

一度此等惡人夫屋、ポン引き共の甘言に誘惑され、彼等の爪手に擄し去られたが最後、囚人の護送にも勝る嚴重なる看守の下に途中數人かの惡ブローカー共の手を轉々させられてのち始めて目的地へと運びおられ、需要主である監獄部屋請負師の手下に監禁され、牛馬を遇するに等しい劣惡なる勞働條件の下に苛烈極まる長時間勞働を強制され、適當なる休息時間等の與へられないなどはまだしも、疾病時に於る休養等の自由迄も奪はれてしまい、過ぎ去つた時代のロシアにおける農奴、アメリカにおいて黑人奴隸に加へたる虐使と酷遇とに勝るとも劣らない程の兇暴極まりない搾取の強請と暴行凌辱との虐げをうけねばならないのである。

かうした陰慘なる監獄部屋の內状、或は被誘拐者かポン引きや惡人夫屋共の恨みても飽き足らぬ誘拐の陷穽に陷入れられてより監獄部屋經營の惡請負師共の手許に賣り渡されるに至るその間の連絡機構等に關する內状暴露は、被誘拐者としての經驗を有する數人の進め誌友の手によつて旣に屢々本誌上にその詳細が報導された筈である。實際において彼等ポン引き共や惡人夫屋共の誘拐手法は頗る巧妙を極めたものである、

×

筆者は最近惡人夫屋の手先となつて數年の間ポン引きをやり數十人の勞働者及田舍出の青少年を誘拐かし監獄部屋に賣り飛ばした經驗を有する老獪せる一勞働者より、懺悔談としての經驗をきかされたことがある。

此の者の經驗談によると誘拐をうける者の種類、即ち被誘拐者が誘拐をうける當時の――主として被誘拐の境遇上からの分類を左の數種に區別して誘惑を働きかけるものであるといふ。

×

一、犯罪者にして犯罪の發露を恐れ、又は檢擧の手を逃れんための高飛を目的とするもの。

×

一、地方出稼ぎの望みを持つも、旅費がないため、前に應募人夫として――即ち被誘拐者として――の經驗を有し、ポン引き、人夫屋、監獄部屋等の內状を知悉する者であつて、自ら誘拐の網に掛かつた如くにみせかけて應募し、需要地への移送の途中、若しくは監獄部屋に收容された後に巧に脫走して無賃旅行で出稼ぎ勞働の目的を達せんとする者。

×

一、被誘拐者の經驗談から監獄部屋の內状を傳聞し監獄部屋に對する恐怖と、街頭募集人(即ちポン引き)に對する警戒の意識を抱きつゝも、失業若くは求職不能といふ足下に迫る現實の生活苦から逃れ出たすための焦燥からウカ〱と誘拐の網にかゝつてくる者(へ都會の勞働市場に永年生活する人々が多くを占めてゐる)

×

一、華やかな都會生活の幻想を追ふて上京し若くは笈を負ふて苦學の目的を達せんために不用意に上京せるも、悲慘なる都會生活の現實に直面するに及んで素志に背き、生活の脅威と內面的な動搖に驅られつゝある點を付け目とするもの。(主として二十歲前後の人々が多くを占める)

大體において以上の如くに區別し、被誘拐者に働きかける誘拐手法もそれ〴〵異つた手心を施すさうである(未完)

產業豫備軍の話

產業豫備軍とは働かんとしても働く所がない勞働者のことを云ふ。ではかゝる產業豫備軍は何故に存在するか、この問題に解決を與へるには、資本主義社會組織の根本にまで遡つて行かねばならぬ。即ち、資本主義社會とは、生産機關を所有するものと所有せざるもの、勞働力以外には持合せない勞働階級の二つの階級の對立する社會である。資本家は自分が儲ける事を目的として、生産機關を動かし、勞働者を雇入れて生産を行ふのであるから、若し、その生産事業が、其の目的に背反する樣になつたなら、資本家は勞働者を馘首し、事業を縮少したり、又は事業を閉鎖する。最近、資本主義が帝國主義時代になつて中小工業が沒落し大資本の集中が行はれると、所謂產業合理化といふ奴で、大資本生産になればなる程、精巧な機械が勞働者の代りを努める樣になり生産も擴大するから、必要のない勞働者が――即ち資本家的生産の立場から――增大し、大量馘首が行はれて行く。現時失業者の多いのはこの資本主義社會の內在的矛盾の現はれである。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

三

夜明け頃、汽車は大陸のとある驛で、長い〱停車の時間を盡した。何事が始まつたかとばかりに人々は不安そうな顔をしたり、凍りついた硝子窓を開けて首を外へ出したりした。しかし汽車は動かうともしない。

向方のプラットホームに、後から進行して來た汽車が威勢よく走つて行く。荷物車の箱が限りなく連續して、數分間を經過した。車體の尻の方についてゐるカンテラの赤い灯が長く尾を引いて過ぎ去ると、後から漸く汽車の動く用意を始めるらしかつた。後で、乘客の人々は、今先き自分達を追越して行つた窓のない荷物車は軍隊の輸送車であることが解つた。物知りらしい口調で始終喋り通してゐる老爺は、遠からず滿洲を舞臺に世界の大戰亂が起る。いまの兵士はみなその用意のためだと、人々に話してきかせた。

夫婦の隣りの椅子に席を占めてゐた若い娘は、老爺のいゝくさの三言に戰くやうに、瞳を丸くした。そして同情を求めるやうな風に、時々夫婦の方へ視線を配つた。

「失禮ですが、あのH驛はまだ遠いでせうか」娘はいきなり口を切つた。そして孤獨を訴へるやうな聲で金一善に訊いた。

「H驛は今日の夕方頃着きます。なにしろこれほどの雪の國ですからね。汽車も簡單には動けねえや……」

男がそれに答へた。そして彼は、男の家族がないらしい娘の旅に不審を抱くやうにつけ加へて聞いた。

「娘さんお獨りかね……」

「えゝ、この兄弟がゐるきりですの……」

娘はK道の人であるらしかつた。彼女の白い歯の間から洩れる言葉は、この國の標準語の發音であつた。

「御兩親はどうしたの……」

「あの……母はゐないんですの。でも母は途この間逝くなつたばかりですわ」

「お父様は……」

「父は、H驛で待つてゐることになつてゐますの……。先日S驛で別れて、父は一足先にあちらで待つことになつてゐますのよ。その間、私達四人は、S州の親戚の處で約束の日を待つてゐました……」

娘は歳に似合はないほどどこかに世なれた處があつた。何でも、はき〱した口調で話して了ふのであつた。

「子供まで連れて大變ですことね。みんな弟さんですか……」

妻が横から口を入れた。そしてほんの子供〱しい女の子が三人の幼子をつれて、やはり宛のない旅に出たことを彼女は憐憫に思はずにゐられなかつた。

「でも……」

娘の眼には、もうとりとめもなく涙が落ちた。

「やはりあちらへお越しですか……それとも……」

「父もあちらへ行くことだけは、死んでも厭だと云つてゐましたけれども、いまとなつちやもう仕樣がなくなつて仕舞ひました…」

「それにしても御一緒でないと心細くないこと…」

「だつて仕方がないんですもの……S驛までは一緒でしたけれども、父には旅行券が下がらなかつたのですから……」

「では…お父様は……」

「あちらで、きつと私達を待つて居て下さるわ。死んでも、歩いて行つて見せると云つてましたわ……そして國境が呪はしいとまでおつしやいましたわ」

娘は、なれない不安な旅ではあつたけれども、父親が待つてゐてくれるのが何よりも力強かつた。彼女は、この汽車が夕闇の頃吹雪の街で、自分を父親に會はせてくれることを信じた。それにしても彼女には、見覺えのない異國の村落が、雪の中に寢さうに埋れてゐるのを見ると、何となく感傷的な氣持ちになれて仕樣がなかつた。彼女は、傍の椅子に、小さくくるまつてゐる三人の弟に寒くないやうに、ぼろやら、なにやらをかけてやつた。

其時彼女は、ふと三年前に母と旅行した時の事を思ひ出した。それは母の里から歸る汽車の中の記憶である。やはり夜中であつたが、秋の風が肌に觸ると寒さを感じる頃であつた。二人の弟と、自分の眠てゐる上に、母は寒くないやうにと、風呂敷の

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

いきれまでかけてくれたことがあつたつけ。彼女は、その懐しい母の姿が思ひ浮ばれて仕様がなかつた。彼女の眼には幻影のやうに母の死面などが現はれた。

「お母さまは御病氣でしたの……」

その時、娑が彼女の感傷的な沈默を破つた。

「いゝえ、病氣ではなかつたのです……母は毒藥をあふつたのです……」

「まあ……毒藥を……」

「そして母は、死際に想像にもつかない恐ろしい罪を犯したのです……」

「………」

「まあお聽き下さい……」

彼女の小さい口からは、母の死にからまつて、末はK島まで落ちぶれなければならない家庭上のロマンスが展かれた。彼女の名は李貞姫と呼んでゐる。

×

丁度去年の夏のことである。K市の女學校にゐた貞姫は、夏の休みを樂しい夢に描いて歸省した。けれでも彼女は、豫想外の悲運に遭はなければならなかつた。

大水災があつた翌年なので、田舍はその影響を蒙り慘憺たる狀態にまでさびれてゐた。時々手紙に書いてあつた田舍の悲境が想像以上であることに彼女は驚かづにはゐられなかつた。土砂や堤防の崩壊や、とんでもない處に砂の山が出來たり、河川がつぶれて仕舞つたりして、野原はまるで別な處であるかのやうに思はれた。家屋や、家財を流したもの、畜牛や、農具肥料等を失くしたもの、命ばかりではあるが、糧食を失くして無衣無食のものが村には殆ど多かつた。そして農民が耕作にかゝるには、平常より二倍三倍の餘計な手數や、資本をかけなければならない。貯蓄のない貧農は、水害にあつた頃から、ずつと飢餓に襲はれてゐた。乞食の群が、村より村へ隊をなして流れて來た。そして春から夏にかけて飢饉地方一帶には名の知らない惡疫が流行し始めた。そのために命を奪はれるものは、日に何百に上ることが多かつた。その上、農時期に這入つてからと云ふものは、前例にない長い〳〵旱魃が續いた。苦心の結果やつと田植が了つたばかりたのに水のない田には稻が枯草のやうにしなだれてゐる。雨は一滴も降らない。農村はまるで熱釜が沸ぎるやうに騷ぎ出した。

百姓は、田野にその姿を見せる必要がなかつた。彼等は、用もないのに街の酒場や役場の前や、契(組合)の事務所等に詰めよせて、訴へたり、同情を求めたり、叫び出したりした。白衣の群は、まるで失神した狀態であつた。

「お！神よ！雨を惠みたまへ！」

の聲が村にみなぎつた。人の口からこの言葉が斷へたのは瞬間もなかつた。

李貞姫の父は元K國時代に郡長をしたことがあつた。彼は村きつての兩班である。村のことや、百姓のことなら役場よりも、この人の命令を受けるのが大事である。そんな關係から、村の契長は彼をおいて他に人がなかつた。

百姓達は、貞姫の家が雨の問屋でもあるが如く、毎日押しかけて來ては、水の心配を繰返す。ある日のことである。若しこの狀態でゐたら田の稻が枯草になつて仕舞ふ契では雨乞の祭を行ふことに相談が一致した。そして空に向つて空砲を打ち放しさへすれば、必ず雨が降ることに定つてゐると人々は信じたかつた。

其時、遲れて來た者で、朴三福といふ人があつた。彼は、村では所謂新思想家であつた。彼は誰よりも先きにチヨンマゲを切り、地球の圓形である事や、日蝕の原理等を知つてゐた。そして彼は、いつでも不平や反抗ならべて政治問題なんかを論評した。○國を人の手に、然も無酬で差し上げてをいて、あべこべ自分達が此國に住みきれなくなるやうな事は死よりも厭た！我等は不當な壓制や、迫害を受る何等の理由も持たない！一九一七年の××運動の時は、之が禍して數年の監刑に處せられた

彼は契の人々が取り決めた雨乞祭に反對した。そして空砲を打つ放すのは、むしろ科學的かも知れないが、我等にはそんな武器を持つ自由がないから不可能なことであると叫んだ。それから彼は、皆を激勵した。

「みんなよ！これから直に××水利組合の水門を破壞して仕舞ふんだ。幾らでも水が貯藏してあるのを、わし等が毎日見とるぢやねえか。それから××會社や、吉田農場の倉庫を開けさせるんだ。肥料や、農具が腐るほどあるんだから……」

村の上方一帶は政府關係の××會社や、吉田農場が經營してゐる移民部落があつたそこには、十五年間小作後には、無償で自作農になる條件でN國の移民が數百戶移住してゐる。會社や、吉田農場では、移民の耕作を保護する目的で水利組合の名の下に灌漑施設が設けられてゐる。勿論その水利組合は、絕國的なもので××會社や、吉田農場本位に設計されたものであつた。一度水門が閉ざされゝは、一滴の水も外へ洩れない。そのために在來野原の中央を貫流してゐた河川は上方水利組合に遮斷されて、下方のC人部落には一滴の水の影も見せなかつた。しかし降雨期になれば溢水のため一時に水門を開放して危險を防ぐから、水門外は田であれ、家屋であれ、激流の勢ひですべてが流されて仕舞ふ"

「意氣地なし……どうせ死ぬのは同じだ！」

朴三福は促すやうに叶鳴ると、先頭に立つて貞姫の家を出た。そのすぐ後に續いて行く貞姫の父の姿を見ると、村の人々は勢力を加へて之に從つた。

しかしこの企ては完全に失敗に了つた。彼等は棍棒、鋤、鍬、斧等を持つたま、村の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

駐在所に拘留されて仕舞つた。そして憲兵や、巡査が武裝して村を警戒し始めた。

このことがあつてから數日の後、貞姫の家に數名の村の若衆が驅けつけて來た。その後には女や、子供が息を切らして這入つて來た。

「リーシャパンの家が……」

「パクシャパンの家が……」

「朴三秀の家が……」

「吉田の鬼めが巡査をつれて……」

彼等は吐切れ〳〵に喚いた。暫くすると表が騷がしくなつて、子供達が泣き叫ぶやうに聲を立てながら木戸口に現はれる。その背後に吉田の面が現はれた。そして麻の洋服を着た執達吏と、私服巡査がど〳〵這入つて來た。まるで、それは國勢調査か強制執行の時のやうに。

「李榮三おるか」

「主人は居りません」

貞姫の母がこの國の威儀として家内で答へた。

「強制執行に來たから戸を開け……」、

執達吏が嚴しく叫鳴る。

「借金した覺へなんかないのに……」

「愚圖〳〵云はずに開けろ……借金がないなんて泥棒の眞似を云ふな……」

吉田が力任せに戸を開けた。貞姫の母は、吉田の腕に捕まつて之を拒んだ。そして彼女は、死力を盡して抵抗した。

「馬鹿野郎！女の癖に……俺ら好きでやるんぢやねえ、金さへ返せば今たつてやりやへん……」

吉田が譯の分らないC語で叫鳴つた。そして私服巡査が、女の抵抗を制止しながら強制執行を妨害するものは處罰されると云ひ放つた。けれども彼女は耳も傾けずに忌々しい聲で怒り叫んだ。

「吉田、家お前の國で何時借金したか……主人がゐないと思つて嘘つきあがる……この鬼め……」

「何ッ！馬鹿！證文見せてやらう」

「それはお前與一爲に借りたもので、お前には關係ないんだ……」

「關係がある。俺は三百圓でこの證文を買つたんだ。お前達のやうな奴徒にや時々懲ういふ目に會はしてやるのも慰めだ……」

「惡黨！與一爲からかりたものは、そこへ返すよ……惡黨！……」

彼女は殆んど呪ふやうな聲で罵つた。

「こゝに印を捺せ！」

執達吏の差出したのは差押物の借用證書であつた。

「主人が居らねば解らん……」

「馬鹿！李榮三が歸る？暴動なんか起した奴がそんなに簡單に歸ると思ふかえ……十年の懲役にしてやる……」

吉田が憎々しい瞳で彼女を睨みながら云つた。

この事件があつた夜、吉田農場の倉庫や、××會社の倉庫は猛火に包まれた。そして吉田の宅の奴隷には、怨嗟をあふつた女の悲鳴と、呪ひの聲が斷へなかつた。

×

「私、こんな最後を遂げた母がほんとうに氣の毒でならないのですよ……」

貞姫は、袖衣の端で泣きはらした眼の縁をふきながら言つた。

「わしの村にも、そんな例は數へ切れないほど多くある。現に、このわしたつてまあさうした非道い目に會つたんだから……わし達の同胞がみんなこんな恰好をして、追はれて行つた後はみんなN人ばかりだよ。村も、わし達の家も、わし達の財産も、わし達の祖先の墓までもみんなN人のものになつちまふさ……」

「さう？…そ…母の墓も、吉田が堀つちまふでせうね？きつとほるわ！鬼だもの…」

「わしはね、金一善といふものです。お互があちらでまた逢へるかも解らない。人の縁といふものは不可思議なものさ……」

男は、彼女の悲しい追想を慰めるやうに言つた。

汽車は、やはり喘ぎ〳〵太陽の光りのない白い原野を走つてゐた。驛が過ぎる毎に、白衣の乘客の姿が段々減つて行つた。

四

ある歳の正月である。××地方の移住民は、部落の中央にある金一善の家に集まつて、飲んだり、歌つたりして樂しい一日を送つた。哀調を帶びた故國の民謠を唄ふものもあつた。古ぼけた玄琴を彈いて皆を興がらしめるものもあつた。女達は、別の部屋で懷しい故郷の樂しかつた正月を追憶するやうに、各々過去のことを喋り合つた。

夕暮れまでにはまだ時間があつたけれども、既に曇つてゐる冬の大陸の空は、薄暗かつた。その時雪を蹴つて、一人の異國人が金一善の家を訪れて來た。彼は村の役場の小使であつた。金一善は、その人をよく知つてゐた。彼は、移住民部落の世話をやいてゐる關係から村役場の人々とは懇意な間柄である。彼は酒で赤くなつた面を戸

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

外にむつゝ突出した。そして廊下の下に佇んでゐる異國人の手を引張つた。

「君寒いから這入つて一杯やりたまへ……」

「へえ…旦那今日は少し忙しいものですから……」

「君の國の正月と、わし等の正月とは同じでね……」

「全く…昔はなんでも同じ國であつたと云ふぢやありませんかね…旦那…」

異國人の小使は、黒い歯をむき出して如才なく答へるのであつた。そして二三度お辭儀をして歸つて行つた。

翌日、金一善は、村役場に於て、かねてから親父のある村長に會つた。村長は、この地方の評判の好い大地主で、温厚な人格者であつた。彼は、長髯を撫で降ろしながら金に云ふのであつた。

「用件といふのは、實は……貴邦人方にとつても、また私達にとつても重大な事件で、先づ貴方の御意見を伺ひ度て……」

「……」

「……若しお氣に障るやうなことがありましたら御勘忍なして…外でもありませんが、貴邦人方はわしらの國籍へ歸化なさることがあるとすれば……どう考へになるでせうな……」

「歸化?……」

金は意外な質問に驚いたやうに訊ね返した。

「さうです。失禮であるかも知りませんが、その歸化如何に依つて貴邦人方が今後生きるか死ぬかの岐路に立たせられるのです。」

「それはまたどういふ譯なのです。」

「私は、貴人との親交を重んじ、また今私の言葉を早く誤解から救ふために、之を貴人にお見せします。たゞ他には絶對に秘密に願ひます」

金一善の前には、一通の書類が投出された。其は村長に宛られた某所の指令であつた

一、一箇年以上の小作契約を許さぬ。二年以上に亘る場合には、その都度監督官憲の許可を要す。若し之を秘密にせば嚴罰に處す

二、地租執照は一箇年契約のものに對して發給する

三、執照は六元の手數料を徴收する

四、本指令により從來の契約は總て無効とする。

金一善は、讀み降ろしてぎよつとした。そして「秘」の字が捺されてあるも一ツの方を手に取つた。彼の手は次第に顫へて行つた。

一、C人の白衣着用を禁じ、可成[illegible]の着用を勸誘すべし

二、C人にして如斯差別的待遇を避んとするものある時はN國々籍を脱し、我國に歸化する自由あるべし

三、C人の居住移轉其他は貴官に於て適宜處理する權限を有す

「之は何んといふ慘酷な仕打ちです?」

讀み了ると金は熱火のやうな憤怒の色を面に現はして叱鳴るやうに云つた。

「貴邦人方には甚だ氣の毒な次第ですが、それは國策として見れば止むを得ないものと見なければなりません……」

「と云ふと……」

「貴邦人方が憎いからでなく、實は、N國が今度新しい内閣成立以來、我が統治に對して、新たに鐵道の計劃を企てたり、出兵を斷行したり、矢鱈に貴邦人をこちらへ移住するやうに仕向けたりして所謂積極的政策に依り、政治上に、經濟上に組織な完全に自分の勢力中に置かうとしつゝある……」

「それで……その仇を受けるのはわし等ですね……」

「まあそう云へばそれに違ひない……我國としては、貴邦人に對しては全く怨みも憎みも持つ必要がないがそれ以外に取るべき方法がない……云つて見れば「以夷制夷」と云つたものですね……」

×

それから數箇月が經つた。それは秋の收穫期が了へたばかりの頃であつた。

K縣N領事館の廣い庭には、白衣の群衆がみすぼらしい姿で、寒天の下に突立つてゐる。彼等は飢餓に逍つた乞食の群のやうに、一家族のものが揃つて、何ものかを求めてゐるやうであつた。腰老つた老父もゐた。赤子を背負つた若い女もゐた。單衣一枚でふるへてゐる若者もゐた。飢と寒さに虐げられながら、彼等は庭の隅つこや、枯木の下や、建物の軒下に家族の手を、手に握つてうづくまつてゐる。彼等の顔色は、永い間の飢のため蒼白く光つて見えた。

大陸の秋の日は憂鬱そのものであつた。太陽の光りは、雲の奥深くに秘められてゐた。やがて夜が來ると、彼等の顔全體には荊のやうな錯雜が咲くであらう。

鞭を手に持つた警官が時々彼等の周圍に現はれて、忌々しいゝゝ〃投ると消えて行く。しかし彼等は、叫ぶ勇氣もなく闘ふ力もなかつた。敗陣ーーれた捕虜の如く從順に何事にも從つた。

彼等は、その殆んど全部が農民である。よほど以前から×省地方へ移住したC人である。なに一ツ金になるやうものを手に持たずに、無一文で國を出た彼等は、名も知らぬ縣にほうり出されて以來今日まで寒さと、飢と苦役と闘つて來た。彼等が降り

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

た汽車の鐵道線路は、もう何處へ行つても、彼等の生存を否定する。已に先きに移住した人々の手に依り、田や、畑が開墾され、それ以上の生存を赦すべき生産力がそこにはなかつた。

　そこで、彼等は茫漠たる滿洲の曠原を越へて、奥へ／＼と旅を續ける。そこには北極に連結する幾千百里とも知れぬ未開の地が草一ツの姿も見せずにほうり捨てられてある。彼等はこの不毛の未開地ではじめて開墾に從事せねばならないのだ。先住同胞の紹介に依つて異國人との間には一先づ借地の契約が結ばれる。そして彼等は、原始そのまゝの曠原の中に、豚小屋よりもなほ低い小屋を作る。それは、數人の家族が永住の地として運命を開拓する基礎なのである。井戸が掘られる。防寒の設備が徐々に施されて行く。そして附近の河川を巧に灌漑用水に利用するため一家族總出で、原野の姿を變へさせる。けれども彼等は、喰ふべき尨大な糧食を持たない、それもやはり秋の收穫期に返濟する契約で異國人に救ひを求めなければならないのだ。高利とは知りながら三袋位の粟を數十里の奥まで運んで行かなければならない。

　こんなことが數年間續いて繰返される。そして彼等が開墾した水田に完全に米の收穫が取れるやうになり、自分達の作つたものが生活で支へられるやうになるまでには五六年間の年限を要する。その永い歳の間彼等は全く、農奴のやうな、苦力のやうな喰はず、飲まずの生活に甘んじなければならぬ。しかしそれのみで彼等の勞苦が了へるものではない。あらゆる辛苦を經て、漸く新生面を開拓した彼等は、借地契約の期間完了で數年間の勞役と、辛苦を水泡に歸させなければならない。彼等は永い間飢と、寒さと勞役と鬪ひながらやつと開拓したすべてのものを地主にあけ渡して、更に奥へ／＼と追はれて行かなければならないのだ。そして更に新しい奴隷の生活を眼の前に迎へ、またそれを繰返さねばならなかつた。

　だが、然うした勞役も、辛苦も、もうその日ぎりとなつて仕舞つた。彼等は、いまや全く、すべてのものより、すべてのものを拒否されたのであつた。

　正月の指令があつて以來、彼等九十戸に近いC國移住民は、異國に於ける官憲の壓迫と、地主の横暴のためあらゆる迫害を蒙らねばならなかつた。彼等は、自分の腕一つで開拓した田や、畑を奪はれ、みすぼらしい茅屋ではあるが永い間住みなれた家屋を徴收され、あらゆる屈辱の下に數十里の曠原の途を避難民のやうに追ひ立てられて來たのであつた。

　K島N領事館に救ひを求めに來たものは多かつた。その群衆はおそらく數千人以上にもなるだらう。

　やがて、N領事が玄關先きにその巨體を現はした。そして彼は群衆の避難を默聞するが如く喚り出した。避難民は、冷水にひつかゝられた時のやうにさよめきながら彼の側へ寄つてたかつた。

　その時であつた。群衆の後端から突然若い女の悲鳴が聞へた。群衆はまたさよめきながら後の方に向き直つた。

「お！お！苦るしい！／＼！」

若い女は、息を切らして呻吟した。その時群衆の中に混つてゐた一人の男が、彼女の姿をちらりと見ると、人垣を分けてとびついて行つた。彼は、地面にひし倒れた彼女の顔を安らかに抱き起した。そして女の面を覗きながら叫ぶのであつた。

「あ！李貞姫！李貞姫だ！」

「…あ…あなたは誰です…厭や…わたし厭や……」

若い女は、うわ言のやうに呟きながら苦るしい息を吐いた。彼女の兩眼には限りなく涙が流れて出た。

「わしは、金一鐵です…あの四年前に泥水の中で遭つたことのある……」

「…金様？…しかし私はもう駄目なのよ…あ…あの鬼奴！巡査の鬼奴！……」

「と…どうしたのです。しつかりしなくつちや…」

「私…私…あゝ苦るし…巡査の鬼が、言ふことを聽かないと云つて、街へ出る馬車の尻へ私を縛りつけたのです。五里も、六里もある砂の上を引摺られて…横になつたり縦になつたり、さかさまになつたりして引摺られて來たのです。うう、苦し……」

「それで…あなたのお父様は……」

「聽かないで下さい。ね…ね…お！恐ろしい…」

「お父様も其の奴にやられたのですかえ……」

「いゝえ／＼。父は…父は、銃殺にされたのです。父は、あの時國境で不斷の罪で銃殺されたのです。私は、その怨みをはらさずには死なれない……」

彼女の悲鳴や、罵る聲に群衆は此端を暫らく默してゐた。

「お！…う…私、死にたくない。きつと／＼仇を討つんだ…父を殺した怨らみ…母を死なした憎しみ…う…う…わたしや死んではならない…私を無んなにまで汚がらしくした、私の一生を弄んだ奴等を…私の弟達をさらつて行つた奴等を…きつと／＼わたし仇を討つてやる……」

彼女の聲は段々低くしやがれて行つた。そして彼女の口元からは急に、どす黒い血が流れて出た。

急に群衆の叫喚が上つた。

「彼奴をやつつけろ！……」

「叩き×して仕舞へ……」

群衆は、益々氣勢を擧げて領事に迫つた。そして前の方の人々がわッと喊聲を上げ作ら領事館の中へ潮のやうに雪崩れ込んで行つた。（完）

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

特別讀物 ―第六齣―尾行ローマンス―

社會主義運動思出話（其十）

岡野辰之介

當時の岡野辰之介氏

一、暮の金貳百餘圓

吉川世民は三行廣告の嚆矢た。何しろ大逆事件の前から、アノ商賣をやつてるのでもう二十年には成らう。同業間に於ける先輩で老舗で、此の頃は事務員の二三人も使つて居る。此の間は商賣を妻君と事務員に任せ、自分は堺利彦の選擧事務長を承はり、アノ大勝を博せしめ、世間を驚倒させるなんて、綽々たる餘裕を見せて居るが、開業當初のミヂメさつたらなかつた。

夫れも其の筈である。勿論大した資本を持つて始まつた譯ではなし、加之、御得意廻りに何時でも尾行を連れて歩くんだから、御得意の方で戰慄してしまふ。イヤ御得意ばかりではない、腎の生みの母が彼が歸京すると、何時もこういつたといふ。

「お前が來ると、イツも後から警察の人が來て、色々の事を聞いては手帳につけて歸るが、お前は一體東京で何をして居るんだ」

そこで彼は、お袋に向つて社會主義の話をして聞かせた。そうすると母は、

「そんな宜いことなら警察の人が來る譯がない。何か外にその奥の手があるだらう?」といつかナ承知せず、さしもの世民も之れには弱つて「豫審判事より始末が惡い」とこぼしたことがある。

彼が御得意廻りをする時には、何時も紐の長い合財袋を提て居た。そして尾行が寄つて來ると、其の紐を長くして合財袋を振り廻しては、之れを追つ拂ふのが常であつた。或る年の暮、夫れも押し詰まつた三十日、例の通り尾行を引つ張つて集金に出掛けた。氣もソワ〱其所此所を驅け廻つて、貳百何十圓といふ集金が出來た。モウ一二軒廻つて今日は切り上げやうと、やつて來たのが下谷の御徒町であつた。電車から降りて見ると、生命に次ぐ今日集めた金がない。夫れも臀部のポケットに入れて置いたのである。彼は青くなつた。そして上着のポケット、チヨツキのポケット、ヅボンのポケットを心も空に探し廻した。之れを見た尾行は何事ならんと寄つて來た。

「吉川さん!どうなさいました」

「どうなさいましたもあるものか、貴樣が盜つたらう?」

「何なです?」

「何をですもあるものか、貴樣が盜つたに違ひない!」

「何を盜られたんですか?氣をつけなくてはイケませんよ」

「何を盜られたんですかがあるか?貴樣が附いて居て盜らせるといふ法があるか!貴樣が盜らないまでも、貴樣が盜らせたに違ひない!辨償しろ!」

「そんな事仰じやつたつて困りますよ。月給十五圓ばかりの者が、二百何十圓も辨償出來やしません。兎に角警察へ訴へて置きませう」

と落ちつき拂つてる。吉川世民いくら地團駄踏んでも追つかず、暮の金二百何十圓はトウ〱出でじまひ。

二、名譽の負傷

松崎源吉といふ男があつた。亞米利加歸りで文學士と號し、ローズといふ外號もあつた。勿論皿洗位して來たものだらう。此の文學士が評判であつたが、併し山崎今朝彌の法學博士、文學博士、醫學博士、其の他色々、米國伯爵、財産百萬圓に對しては靴の紐を解くにも足りない。唯彼は牧師の口眞似を以て鳴つた。そして會合毎に會衆から所望せられて、「ワータクシは、ミナサン」てな妙な口調の御說敎をやつて、會衆を笑はせたものである。

彼れは社會新聞の同人であつた。社會新聞が分裂して、社會新聞と東京社會新聞となるや、彼れは吉川、西川、赤羽等と東京社會新聞に據り、署名人となつて村山四郎の書いた「專賣法と社會主義」で引つかゝり、四ケ月喰ひ込んだことがある。東京社

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

會新聞編輯長は活動家となり、活動家としては同業間に重きを爲し、後巣鴨會館の主任になつたが、今はどうして居るか分らない。末路話た振るはないといふことだけは聞いた。

此の男頗るヘウキンで、色々話の種を蒔いた。或る時例に依つて尾行をつれて、砲兵工廠前の川端をやつて來た。折柄疾風の如く走つて來た電車に、彼れはヒヨコリと飛び乘つた。此の時の尾行子は背の短い男でスタコラ追つて來て、ヤツト電車につかまり、踏み臺に飛び上がると、彼は上から之れを突き落としたのである。何條以てタまるべき、尾行子は砂利道に仰向けに、蛙をタ、きつけたやうに打ち倒れて、目を白黑させ、手足をピク／＼させて氣絶してしまつた。

之れを車掌臺上から見て居た松崎は、

「それだからいはぬこつちやない。飛び乘りはアブないから、ちやんと整止めてあるんぢやないか？」

尾行子は車掌や交番の巡査に手當てせられて、漸く蘇生したが、後頭其の他に負傷して數週間の病院生活を送つた。之れを聞いた他の尾行連は、

「名譽の負傷だ。實に尊敬すべき犠牲だ」と賞ること、賞ること。

三、巡査辭職申出

竹内善朔といふ名前は、屋上演説事件に出た。此の男今は淺草簡易圖書館長といふ顯要の地位に昇り、危險思想など微塵もないやうな顔をして居るが、尾行時代では人後に落ちぬ剛のものであつた。身體は細い肺病病みのやうで、自分でも肺結核だと發語して居たが、マダ蟲魚の生活を續けて居る所を見ると、肺結核でもなかつたらうに。

夫れで居て尾行子を夜中雨の降るのに、學習院の森を引つ張り歩いた話がある。

朝午前五時頃からやつて來て、門口に張り込んで居たのが彼れを怒らせたのであつた。彼は其の日神田に到り、小石川に行き本郷、麹町、牛込と各所を廻つた。そして何處へ行つても二三分で辭去し、尾行子をして悠々食を取る餘裕を與へなかつた。勿論晩飯もそうであつた。そして歸りは夜の九時頃であつたから、眞直に家に歸れば尾行子も息がつけたゞらう。尾行子は何んでも命令通りに家を出て朝飯を食はなかつたらしい。晝飯はベントウを提げて居たのであるが、夫れを食つてる暇はなかつた。

其の頃彼は雜司ケ谷墓地側に住んで居たから、護國寺前まで來た時には、尾行子もモウ少しで放免せられると喜んだに相違ない。然るに彼は今の護國寺側の共同墓地の下から右に曲らず、女子大學裏へ眞直に進んで行く。夫れでも尾行は何か用事があつて、廻り道をするんだナ位に思つて居たゞらう。處が雜司ケ谷の通りを眞直に目白の方へ行き、高田の交番から鬼子母神境内へ出て、夫れから左に折れて畑の中を再び目白通りに出で、學習院の森へ踏み込んだ。當時學習院は工事に取り掛ゝりもしなかつたから、廣い間が大木が蒼鬱として居り、其の間には雜草繁茂して居たものだ。此の中に潜ぐられたのであるから、尾行子はキツト何處か逆徒の密會所でも出來てると思つたかも知れない。一生懸命見失ふまいとついて來る。彼は左に右に、高臺を降つたり登つたり、小休みもしないでドン／＼歩く。尾行は股がへつて卒倒せんばかりに成つてるが、見失つて成るものかと一生懸命追ひすがる。時は大逆事件の勃發した秋であつた。夜寒むが身に浸みる。夫れに秋の空の變り易く、晝の間はそんな模樣もなかつたが、十時頃からポツリ／＼と降り出した。そして可成り大降りに成つても彼は行進を止めやうとしない。尾行も追跡をつゞけて止まない。ターララツタ、ターララツタ……さながら活動のロケといふ場面！

雨に濡るゝこと無慮二時間！ロケを止めて彼が家路に着いたのは十二時を少し過ぎて居た。

× × × ×

四五日過ぎて又物日があつた。今度は顏の新しい尾行であつた。彼は其の日は終日外出せず、無聊な儘に尾行子を呼び込んで話をした。新顏のいふには、

「可愛そうにアノ男はあれから大熱を出しましてネ、二三日缺勤しましたよ。そして今日も亦アナタに尾行しろといふ命令が出ますと、

「私は竹内に尾行するなら辭職します」と傍ろから辭職願を出したんで、マア／＼と皆んなで止めて居ました。それで今日は私が代つて上がつたやうな譯なんです……」

四、門前に交番が建つ

幸徳の巣鴨の住居は大塚停車場の北口で、今酒屋になつて居る。附近は山ニバーの在る一郭が牛乳屋であつて、前に二三軒長屋があつた限り、餘り家がなかつた。其の前の長屋――三軒續きだつたと思ふ――の一軒、夫れも丁度幸徳の門と相對した家を尾行所に借た。そして障子に指を舐めて穴を明けて置き、三人が交替で覗いて居たのであるから、出る人這入る人スツカリ分つたのである。所がこうして前門を固めて居ると、後門から出這入りを始めた。丁度勝手から直接の小道に出て、牛乳屋の裏の方に出られた。そこで尾行隊も後門を固める必要が起つたが、生憎其所には長屋がなく、さいふて小屋を建る程の空地もないので、尾行子の一人が線路の上から見張ることゝなつた。今も大塚驛は高い線路の上に在るが、昔も矢張りアノ通りであつた。そして附近には家がないから線路に立つて居ると裏口から出這入りする者は一目に分る。それに氣附かずにマンマと尾行の目を潜つたなどゝ思つてると、豈に圖らんや疾うに知られて居るのであつた。

彼が巣鴨に居たのは一冬で、翌年の春に成ると千駄ケ谷へ越した、千駄ケ谷に於け

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

る警戒は大したもので、前が原ッパであつたから、其處にテント張りの交番が出來てしまつた。此の頃の警戒振りを杉村楚人冠が朝日に書いたので、警視廳でもキマリが惡くなつたと見え、其の急造交番だけは其の記事が現はれると早速撤廢した。

×

堺利彦の最も警戒せられたのは四谷忍原横丁時代である。丁度三ッ角であつたが、其の手前の角が縫箔屋か何かで、其の二階を尾行所に借込んだ。そして彼等は惡い日には障子のガラスから、暖かい日には半身をのし出して、出入りの面々を帳面に記入し、大將が出るとなるとスタコラ後を追つたものである。併し此の兩御大は前に書いた三醜男のやうに、尾行虐めはしなかつた。唯大杉榮に至つては、支那金のやうなギヨロ目玉を白黑させながら、大きな聲でドモリ附けたものである。彼は仲間に對しては非常にやさしかつたが官權に對しては非常に強かつた。

×

こうして一時は四十餘人の同志が一人として尾行を連れて居らぬはなかつたので、三四人一所に日比谷など散歩すると、同勢其の倍となつた。そして何時も撒かれると彼等の報告は「韋駄天の如く疾走して見えずなつた」といふのがキマリ文句だつたが多くは友人や同志の處へ寄つて、玄關口に待たせて置いて裏から出るんで決して「韋駄天の如く疾走し」て撒くんではなかつた。所が中には宜い加減な報告をして置くものがあると、其の被尾行人が他の被尾行人の所へ行き、其處からの報告で尻尾が割れ咎に成りそうになつたものもある。尾行も皮切りはイヤなものだが、二三日すると尾行が來ないと心配するやうに成る。モシ他の同志と落ち合つて皆んな尾行があるのに自分だけないと肩身が狹いものだ。そして「警視廳め己れを輕視して居やがる」と腹立たしく思つたりしたものだ。

五、其の頃の僕

僕は其頃矢張り大塚終點は天祖神社の前に居た。道を挾んで天祖神社を背にして居たんだ。其の家は今天祖神社と向ひ合になつて、煙草屋をやつて居る。獨立家屋だつた。僕の右手に二戸續きの小さい家があつて、先き隣りに森近運平が越し來た。森近は大阪で日本平民新聞を出して居たのであるが、赤旗事件で同志が一網打盡せられるや、彼は東京で之れを續行せんとし家族を提げて上京したのである。併し金もないし、同志も少かつたので夫れは思ひ止まり、小石川水道町で本屋を開くことにした。今水道町は見る影もないが其の頃は小石川の繁華であつた。石切り橋の方に寄つた所で、小日向臺へ上る横丁の二三軒目であつた。造作も出來、自分の持つてる本を列べて、可成り繼續して居たのであるが、何でも警察のやり方に憤慨して、決然之れを思ひ止まり、僕の一軒置いて隣りへ越して來たのである。そして幸德の世話で内外出版協會（今はないやうに思ふ）から翻譯を引き受けてやつて居た。何とかいふ監獄改良家の傳記だつた。其の暮一所に餅をつくことに成つて、モウ糯米がフケたのに森近が何處かへ用足しに行つて歸つて來ない。そこで二軒分僕一人で搗いてしまつたことがある。當時僕はお袋と二人切りであつたから、五升か一斗搗いたんだらう。其のお袋は今も生きて居て八十一に成り、去年勿體なくも天杯を戴いた。森近は妻君と、キイちやんといふ五ツばかりの女の子と、三人暮らしだつた。

僕は寫字をして生活して居た。夫れもアノ新聞廣告に出て居るのではない。今は故人となつたが、大日本史料編纂官前田なにがしといふ人と知つて居たので、其の手で古文書の寫字をして居たのである。或る時前田さんが「君は雇生に成らんか、日給四十錢だが、勉強も出來るし、將來出世も出來る」といふことであつた。今迄は一枚幾らでやつて居たのであるが、今度は月給でいくら遊んで居てもよい代りに、毎日出勤しなければならなかつた。併しお袋と二人で食ふには十分なので喜んで承諾した。所が困つたことには今迄家に居る時には尾行がなかつたが、毎日出るやうに成ると尾行がつき出した。二三度は撒いてしまつたが、三百六十五日撒けるものでもなし、困り拔いた上何警察の係等が來たのを幸、打ち明け話をして尾行をつけないやうに頼んだ。そしてそうなつた。

明治四十何年だつたか、大學の卒業式が擧行せられることゝなつた。何時でも擧行せられるが大逆事件勃發の前々年であつたらう。其の數日前前田編纂官が僕を呼んで「君は宅で寫字した方がよいだらう」といふ。前には「宅でやつてるより勤めた方がよいだらう」といつて置きながら可笑しなことをいふものだと思つたが、直ナルほどゝ氣がついた。そして其の日限り雇生御免に成つた。

今ではソンなことはないが、其の年までは大學の卒業式に畏れ多くも天皇陛下臨幸遊ばされ、優等生に金時計を恩賜せられる例だつたのである。

× × × × ×

× × × × × ×

進め社だより

打續く白色テロの嵐の中に、第十回目のメーデーを迎ふ。昨年のメーデーにおいての右翼幽靈に見られた行進中、サイダーやアンパンを呑み食ひした不眞面目な態度を一掃したいと思ふ。メーデーはお祭ではない。支配階級に對する決死的デモを敢行して白色テロを恐怖せしめる闘爭の日である。戰闘的メーデー、戰闘的デモストレション、投獄された前衞、殺された山宣のふくしゆうのデモストレションの日である。

われわれは何よりも今年のメーデーをかくあらしめなければならない。

×

メーデーを記念して佐藤君、下村君、伊倉君の寄稿を得た。又、去る三月五日兇刄に倒れたわれ等の輝ける指導者山本宣治君の闘爭を記念する爲めに、氏が議會において爲した質問速記を轉載した。氏は完膚なきまでに暴露してゐるではないか。彼が兇漢に襲はれるのも故なき事ではない。

資料として全國勞農青年同盟東京府支部創立大會の闘爭方針書草案を掲げる。同盟の歩みゆく苦難の道、戰闘的青年同盟への轉換、社會民主主義に對する無慈悲なる闘爭こそ、我等も舊友諸君と共に決死的に守るであらう。××××に對立する反動的勢力と敢然と戰ふ事こそ、われらに課せられた任務である。社民、日本大衆黨は勿論の事、左右兩翼の社會民主主義者に對する闘爭が今月は展開し得なかつた。それはまた社會民主主義的殘存物がわれわれの間にへばりついてゐた事を物語るものであるが、われらは最早、社會民主主義に何等の期待をも持たない。勇敢に過去の誤謬を脱却すべき時期に當面してゐる。われわれは、全土の勞働組合、農民組合、青年同盟の闘爭過程において餘りにも無力なる彼等を、否、戰線の攪亂者としての彼等をイヤと云ふ程見て來たからだ。次號より全土の同志諸君によつて左右の社會民主主義殊に左翼社會民主主義への活潑なる闘爭が形成されるであらう。

×

全土戰報欄は今月だけ休む事にした。資料と、山宣の闘爭記録を載せたからだ。それと、今一つメーデー號として早く發行する必要に迫られ原稿を整理するヒマをもたなかつたからだ。前月號資料として掲載した全國勞農青年同盟散布方針書は、決定された方針書ではなかつた。草案の文字を拔いた事を深く御詑する。

前記方針書草案は内部に孕む種々なる誤謬と矛盾の爲め遂に撤回せられた事をこゝに附記しておく。

×

研究會を復活してゐる、希望者は至急申込んでほしい。これから進め紙上には時々掲載しないから、其のつもりで、しかし、以前出席されてゐた諸氏には申込まなくとも通知する。

支局規定を申込め

讀者の數人あるところでは支局を作つてもらひたい。現在讀者の無いところでも今後讀者の出來そうなところでは大至急支局を確立せよ。本社は支局に對しては、雜誌「進め」を定價の半額で配布する。

支局を確立しておくと不當なる發賣禁止に對抗する事が出來る。地方書店などではすぐ差押へされたり、來ない場合があるから、手に入らない事がある。特に朝鮮の同志諸君は細心なる注意の下に朝鮮總督府の不法禁止處分に對抗せよ。

×

最近頻々として、本誌に對して惡口が飛んで、投書がくる。われわれは惡口、中傷には恐れるものでないから、是非今後は堂々と署名して送つてほしい。名前を隱しての惡口は結局御笑ひ草になるものだ。日本大衆黨のダラ幹一派の所爲と思ふ。卑怯な事では諸君は人後に落ちぬからな（東京同人）

×

大阪進め社では同人が殆んど徹夜蹴行でダラ幹撲滅運動を行つてゐる。日本大衆黨のダラ幹は凡ての戰闘分子を動員して「清黨運動同盟」の破壞を企てゝゐる。丁度反動政府が無產階級の陣營を彈壓するやうに。

大阪では同志吉田同人、高知では同志前川、稲川の兩同人が何れも相ついで日本大衆黨のダラ幹乃至それの手先きや一味から除名せられた。

面白いのは同志吉田の除名だ、同志吉田は舊日勞黨時代、總聯合を中心とする大阪聯合會から除殺せられた東淀川第二支部所屬であつて、七黨合同後直に淀川地方支部に所屬し、今では舊無產大衆系の聯合會に所屬し、執行部に這入つていて、教育部長の要職にあるのだが、自己の所屬でないものを除名の申請を本部に出したり、又其何等權能のないものゝ申請を受理する樣な本部はダラ幹でなければ到底出來ない藝當だ。しかもその不法極まる處置を取つた本部には、同志吉田と共に他人扱ひされていた支部の支部長であつた岩井正三郎君が現に常任書記でいながら指一本さゝないでいるのもコッケイな次第だ。青年同盟の書記長殿ダラ幹排撃をムキになつて反對するのも無理からぬ譯がある、らしい……

安勢登、飯岡文六、阪本孝三郎、阪本勝の御歴々。「清黨」は事實無根と黨員に觸れ歩く。麻生が反動黨を作らうとして破廉人である事や、平野が札付きであることが事實無根と誰が信じやう。

川上博士曰く「黑を黑と言はないだけでも裏切だ、若し黑な白と云ふならそれは反動である」とそうすると、安勢、文六、孝、勝の徒は何になるかなアー。

「みなと」家と云ふは御術作にありつけなかつたが、龜井戸あたりにアリツクたダラ幹の旗下三羽烏の曰く「ダラ幹排撃には贊成するが、今麻生や平野を出すことは出來ない」と。奴等は麻生や平野とダラ幹とが別のものでもあるらしい。頭は返すが、女房は去なせぬと云ふのと同じ事だ。（大阪同人）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

進め社取次書目

振替東京六九八五三

解放群書

◆定價壹編壹圓（廉價版及宣傳用書は半額）
◆送代壹冊拾錢（各冊廉價版又は宣傳用書あり）
◆編中發禁數多（不掲載編賣切禁止等絶版）
◆出版目錄進呈（賣切絶版品少部なら數照註文）

1 ◆新居格傑作集 月夜の喫煙
2 ◆青野季吉隨論集 解放の藝術
4 ◆山田清三郎傑作集 幽靈讀者
5 ◆山崎伯爵『甘粕は三人殺して假出獄久さん未遂で無期の懲役』事 地震憲兵火事巡査
7 ◆幸德全集第一卷 幸德秋水短文集
8 ◆幸德全集第二卷 幸德秋水書簡集
9 ◆本社編（學者實際家執筆） 新興消費組合
10 ◆山崎今朝彌駄文集 辯護士大安賣
14 ◆守田有秋編（世界各國） 革命文書集
15 ◆石川三四郎著 世界社會運動史
16 ◆守田文治著（世界各國） ユートピア集
17 ◆岡陽之助著 日本社會運動史
18 ◆佐倉啄二著 製糸女工虐待史
19 ◆近藤榮藏著 露國勞働運動史
20 ◆小川未明傑作集 彼等甦らば
21 ◆中西伊之助傑作集 長編戲曲 武左衛門 一百揆姓
23 ◆山内房吉著 社會思想解說
24 ◆尾瀬敬止著（露國藝術） 革命藝術大系
25 ◆神近市子傑作集 未來をめぐる幻影
27 ◆本社編（菊判八百頁上下二冊箱入） プロレ作名家 最近傑作集
28 ◆本社編（菊判千頁上下二冊箱入） 數百名主義者 最近隨論集
29 ◆赤松克麿夫妻共著（上製） 英國婦人勞働運動史
30 ◆守田有秋著（古今東西） 殉難革命家列傳
31 ◆各國共産黨編 水野正次譯 婦人運動當面の諸問題
32 ◆幸德全集第三卷 幸德秋水評論集
33 ◆守田文治著（世界各國） 革命婦人列傳
34 ◆入交總一郎著（總振假名附） 社會主義的童話讀本
35 ◆本莊可宗著（六號ゴヂック組新刊） 最新解放辭典
36 ◆幸德全集第四卷 幸德秋水文藝集

◇諷刺集及論集にて幸德全集六卷六月完成
◇尚續刊五卷々年年鑑日記圖書現勢九月刊行
◇續いて社會運動全集十二卷發行廿年完結

大衆の中へ！そして、大衆と一歩も離るゝことなく大衆を前に前進せしめよ！
即ち、この言葉こそ、階級的先進分子の片時も脳裡より放してならない警言でなければならぬ。

月刊 労農戦線

発行所
神戸市夢野清水五四
労農戦線社
一部五銭 一年六十銭

金.銀.白金
徳力本店
電神 25 216. 235 / 221. 976. / 450.-
東京神田松田町

福徳生命
本店 大阪・大江橋

婦人良薬
喜谷實母散
産前、産後、血の道、引風、冷込等に特効有
全國到る處に販賣す
本舗 東京京橋區中橋大鋸町
喜谷市郎右衛門
電話京橋五五番 五六番

無産階級の診療所
平民病院
東京市京橋區木挽町

全國農民組合機關紙
働く農民に土地を保證せよ
全國農民の血をわかす吾等の巨砲

土地と自由

月刊 一部五錢
大阪市北區堂島濱通
全國農民組合本部

蝙蝠印

揮發油

日本石油株式會社

週刊 月曜日發行

日本社會運動通信

―(掲載要目)―

無産政治運動
勞働組合運動
勞働爭議
農民運動
小作爭議
電燈料値下運動
電車爭議
俸給生活者運動
水平社解放運動
無産青年運動
無産婦人運動
消費組合運動
國際情報
植民地諸運動
勞働賃銀調査
物價經濟調査

定價 1ヶ月20圓 1ヶ年200圓

日本社會運動通信社發行

東京市芝區櫻田本鄉町一四

振替東京七八五五九番・電話銀座五五四一番

夏帽は松屋

東京・銀座